

件十E-77

135
2
176

海 津 政 修
木 村 榮 著

兵事例規

全

明治廿二年七月刊行

兵事例規

凡例

一此書ハ徵兵令發布セラレタルヨリ今日マテノ之ニ關スル條例規則其他及各師團各府縣ノ伺指令及問合回答等必要ノ件々遺漏ナク拾集編纂スルモノナリ

一徵兵令及條例規則中各條下ニ註解關係條項舊令參照伺指令及令達等ヲ掲載ス

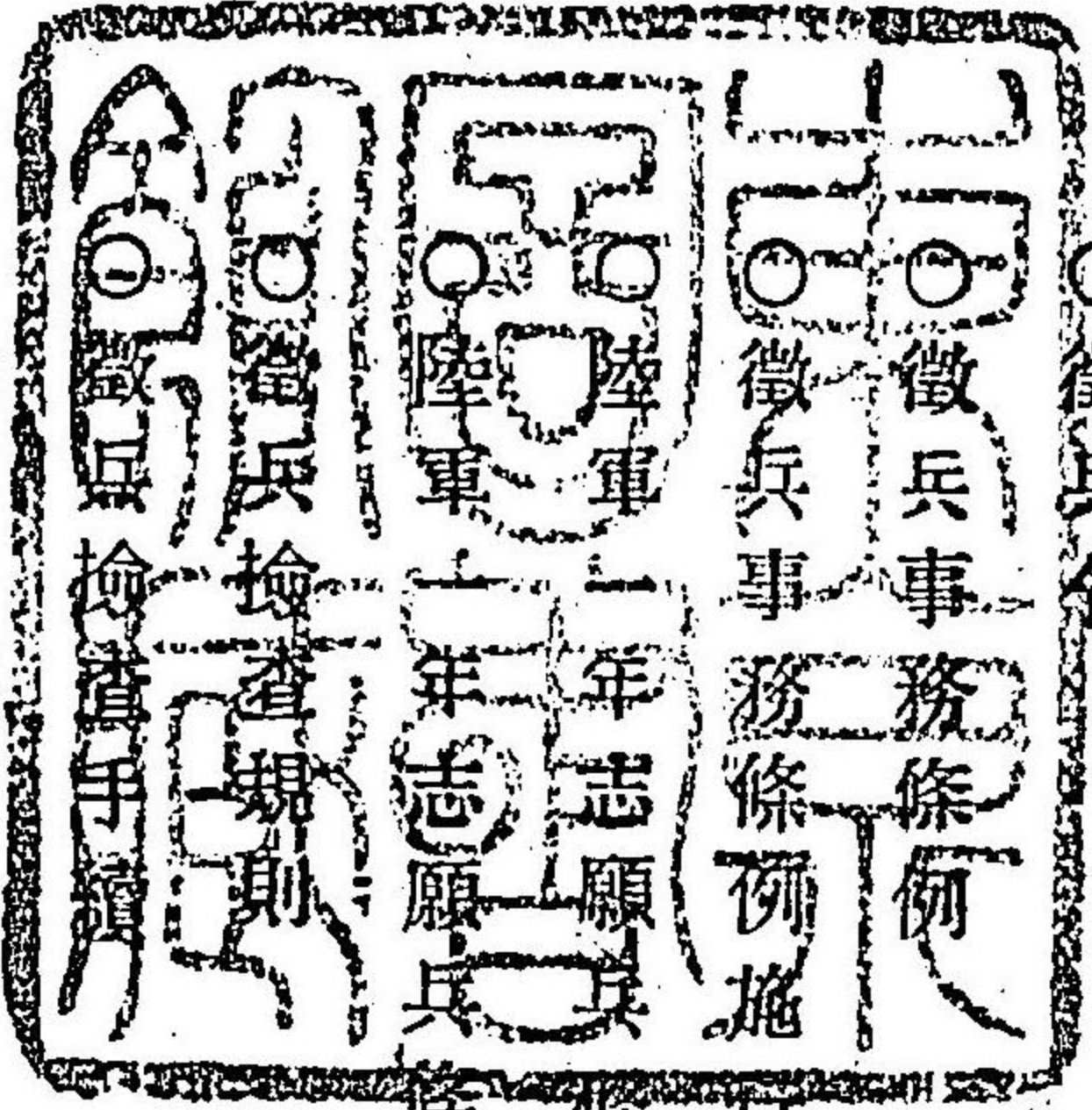
一註解ニハ「註解」關係條項ニハ「關係」舊令參照ニハ「參照」伺指令及令達等ニハ環點ヲ各冒頭ニ冠シ以テ搜索ニ便ナラシム

明治二十二年七月

凡例

著者 識

No 18470/22



目次

- 徵兵令
- 徵兵事務條例
- 徵兵事務條例施行細則
- 陸軍一年志願兵條例
- 陸軍一年志願兵條例施行細則
- 徵兵檢查規則
- 徵兵檢查手續
- 陸軍志願兵身體檢查規則
- 陸軍常備團隊配備表
- 陸軍管區表
- 徵兵令改正ニ付舊徵兵令ニ交渉ノ件

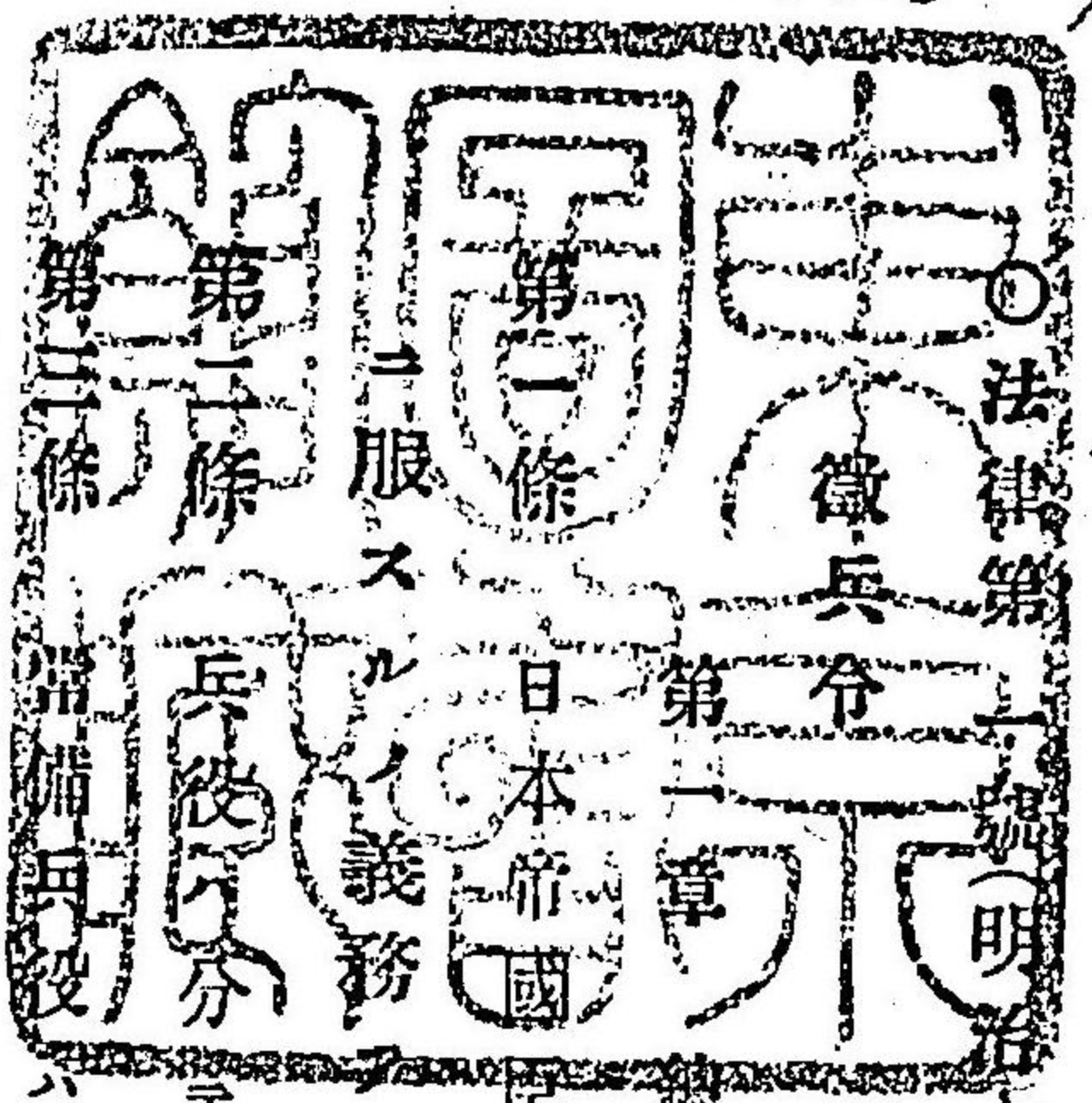
目次

- 一
- 四十六丁
- 七十九丁
- 百十三丁
- 百二十三丁
- 百三十九丁
- 百四十六丁
- 百五十二丁
- 百五十七丁
- 百五十九丁
- 百六十五丁



671
023
149

兵事例規



法律第一號 徵兵令 (明治二十二年一月二十一日)

第一章 總則

第一條 日本帝國國民ニシテ滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノ男子ハ總テ兵役ニ服スルノ義務アルモノトス

第二條 常備兵役後備兵役及ヒ國民兵役トス

第三條 常備兵役ハ分テ現役及豫備役トス

現役ハ陸軍ハ三箇年海軍ハ四箇年ニシテ滿二十歳ニ至リタル者之ニ服ス
 豫備役ハ陸軍ハ四箇年海軍ハ三箇年ニシテ現役ヲ終リタル者之ニ服ス

第四條 後備兵役ハ五箇年ニシテ常備兵役ヲ終リタル者之ニ服ス

徵兵令

目錄畢

- 警備隊兵卒入營前ノ取扱 百六十六丁
- 試補及判任官見習ニシテ一年志願兵トナル者ハ在職ノ儘服役スルヲ得ルノ件 百六十七丁
- 海軍生徒海軍工夫ハ常備兵籍ニ編入又東京函館商船學校生徒ハ海軍生徒ニ準セラル可キノ件 百六十七丁
- 徵兵參事員手當金并旅費支給規則 百六十八丁
- 步兵聯隊ノ兵員ヲ徵集スヘキ聯合大隊區 百六十九丁
- 徵募區及市長市書記市徵兵參事員ニ關スル件 百七十一丁
- 市町村立私立學校ニシテ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル所ハ豫申スル事 百七十二丁



第五條 國民兵役ハ滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノ者ニシテ常備兵役及後備
兵役ニ在ラサル者之ニ服ス

第六條 各兵役ノ期限既ニ滿ルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ
臨時ニ演習或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期
ヲ延スコトアル可シ

(註解)本條ノ期ヲ延ストハ現役豫備後備ノ服役期限ヲ延ス義ニテ其服
役ノ起算方ハ本令第二十九條ヲ見ルヘシ

第七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ兵役ニ服スルコトヲ許サス
(註解)本條ノ刑ニ處セラレ、モ適齡前大赦ニ遭フキハ本令第一條ノ兵
役義務ヲ有スルモノトス特赦ハ此限ニアラス

(關係)事務條例旅行細則第二條

第二章 服役

第八條 陸軍現役兵ハ毎年所要ノ人員ニ應ジ壯丁ノ身材藝能職業ニ從ヒ

步兵騎兵砲兵工兵輜重兵職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ當籤ノ者
ヲ以テ之ニ充ツ海軍現役兵ハ毎年所要ノ人員ニ應ジ沿海地方及島嶼ノ
壯丁ヲ調査シ海軍ニ適スル職業ニ從ヒ水兵火夫職工雜卒ニ區別シ抽籤
ノ法ニ依リ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充ツ但海軍志願兵徵募規則ニ依リ服役
スル者ハ本令ノ限ニ在ラス

警備隊ヲ置キタル島嶼ノ壯丁ハ總テ之ヲ警備隊ニ充テ其地ニ於テ服役
セシム但在營期限ハ一箇年以内トス

(註解)雜卒ハ陸軍ニ在テ輜重輪卒海軍ニ在テ看護夫厨夫ナリ

第二項沿海地方ハ沿海地方ヲ包括スル大隊區ヨリ徵集スルノ義トス
第九條 雜卒ノ現役期限ハ其職務ニ因リ之ヲ短縮スルコトアル可シ但常
備兵役ノ全期ハ之ヲ減スルコトナシ

○勅令第三十七號 明治廿二年
三月十九日

陸軍輜重輪卒ノ現役期限ハ一ケ年トシ三期ニ分チ入營セシム其第一

期ハ十二月一日第二期ハ四月一日第三期ハ八月一日トス
疾病犯罪等ニテ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ次期ニ於テ入營セシメ共
補決員ハ次期入營スヘキ者ヲ繰上ケ其月ノ十日迄ニ入營セシム但第
三期ニ在テハ豫備徵員ヲ以テ補缺ス

第十條 二十歳ニ至ラスト雖モ滿十七歳以上ノ者ハ志願ニ由リ現役ニ服
スルコトヲ得

(註解)本條ノ志願兵ハ適齡前ニ限ル而シテ志願兵ハ從前ノ志願兵ト全ク
性質ヲ異ニス但隊ノ都合ニヨリ許可セサルコトアル可シ

(關係)徵兵事務條例第六十條

○宮城縣問合 明治廿二年三月九日

第一項徵兵令第十條ノ滿十七歳及第十一條ノ滿十七歳二十六歳ハ
其志願スル年ノ十二月ヲ以テ分界トスヘキヤ

陸軍省回答 明治廿二年三月十二日

第一項滿十七歳ハ見解ノ通滿二十六歳ハ志願スル年ノ一月ヨリ十
二月迄ニ其年齡ニ當ル者ヲ云

○山形縣伺 明治廿二年三月七日

徵兵令第十條ノ志願者身体検査ノ義施行細則中明文之ナシ右ハ條
例第廿五條ノ徵兵署又ハ検査所ニ出頭身体ノ検査ヲ受ケサセ合格
ノ者ハ附錄第一様式ノ名簿ヲ作り而シテ條例第六十條ニヨリ出願
セシムル義ナルヤ又全條ニ軍隊トアルハ聯隊長又ハ大隊長ニ宛テ
市町村長ノ奥書証印ヲ要セス直ニ差出サセ然ルヘキヤ

陸軍省指合 明治廿二年三月十五日

前段ハ徵兵署及検査所ニ於テ關係ナキ者トス
後段ハ伺之通り

第十一條 滿十七歳以上滿二十六歳以下ニシテ官立學校 帝國大學撰科及
府縣立師範學校中學校若クハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等

以上ト認メタル學校若クハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學
 政治學理財學ヲ教授スル私立學校ノ卒業證書ヲ所持シ若クハ陸軍試驗
 委員ノ試驗ニ及第シ服役中食料被服裝具等ノ費用ヲ自辨スル者ハ志願
 ニ由リ一箇年間陸軍現役ニ服スルコトヲ得但費用ノ全額ヲ自辨シ能ハ
 サル證アル者ニハ其幾部ヲ官給スルコトアルヘシ
 前項ノ一年志願兵ハ特別ノ教育ヲ授ケ現役滿期ノ後二箇年間豫備役ニ
 五箇年間後備役ニ服セム
 滿十七歳以上二十六歳以下ニシテ官立府縣立師範學校ノ卒業者ハ六箇
 月間陸軍現役ニ服スルコトヲ得其服役中ノ費用ハ當該學校ヨリ之ヲ弁
 償スルモノトス
 前項ノ志願兵ニシテ現役ヲ終リタル者ハ七ケ年間豫備役ニ服シ三箇年
 間後備役ニ服ス

(註解) 第一項中文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律政治理財ノ一

學科ヲ卒業シ其證書ヲ所持スル者ハ陸軍試驗員委ノ試驗ヲ要セス
 第四項豫備役年間ノ長キハ六ケ月間ノ服役ニテ軍事教育ノ不完
 全ナルカ爲ナリ

○大分縣伺 二十二年 二月廿一日

徵兵令第十一條官立府縣立師範學校ノ卒業者ニシテ六ケ月間陸
 軍現役志願ノモノハ總テ勅令第十四号陸軍一年志願兵條例ニ準
 シ取扱ヒ然ルヘキヤ

陸軍省指令 二十二年 三月五日

令第十一條三項ノ志願者ニ係ル取扱方ハ遐テ定ム

○岡山縣伺 二十二年 二月廿一日

師範學校卒業者六ケ月服役ノ費用ハ何程ナルヤ

陸軍省指令 二十二年 三月五日

令第十一條三項ノ志願者ニ係ル取扱方ハ遐テ定ム

徵兵令

第十二條 禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ賭博犯ニ由リ懲罰ニ處セラレタル者ハ一年志願兵タルコトヲ許サズ

(註解)本條ノ者モ第七條ニ就テ掲クル場合ニ在テハ一年志願兵タルコトヲ得第十三條 現役中殊ニ勤務ニ熟シ品行方正ナル者ハ歸休ヲ命スルコトアルヘシ

○第五師團申請 明治廿二年三月十五日

豫備後備兵諸官廳へ奉仕ノ義ハ從來舊後備軍司令部條例第二十五條ニ依リ取扱ヒ來リシ處褒賞歸休兵ニアリテハ奉仕相成ラサルモノト考へ取扱ヘリ然ルニ右ニテハ一家生計上困難ノ向モ之アルヲ以テ仮令現役中ト雖モ召集ニ際シ差支ナキ限りハ豫備後備兵同様奉仕差許シ度

陸軍省指令 二十二年三月廿六日

申請ノ通

第十四條 豫備兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎年度六十日以内勤務演習ノ爲メ之ヲ召集シ又毎年度一度簡閱點呼ヲ爲ス

(註解)勤務演習ハ從前ノ復習召集簡閱點呼ハ從前ノ點呼召集ニ同シ

第十五條 後備兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ豫備兵ニ次テ之ヲ召集ス平常ニ在テ勤務演習及簡閱點呼ヲ爲スコト豫備兵ニ同シ

第十六條 國民兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ後備兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキニ限り之ヲ召集ス

(註解)國民兵召集ノ手續ハ追テ定マル

第三章 免役延期及猶豫

第十七條 兵役ヲ免スルハ癩疾又ハ不具等ニテ徵兵検査規則ニ照シ兵役ニ堪ヘサル者ニ限ル

第十八條 左ニ掲クル者ハ徵集ヲ延期ス次年ニ於テ仍ホ徵集ニ適セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

第一 体格完全且強壯ナルモ身幹未タ定尺ニ滿タサル者
第二 疾病中又ハ病後ニシテ勞役ニ堪ヘサル者
(註解) 次年ハ翌年ノ意ニアラス 逐次ノ意ナリ

第十九條 公權ノ剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重輕罪ノ爲メ訊問若クハ
拘留中ノ者ハ徵集ヲ延期ス

第二十條 徵集ニ應スルトキハ其家族自活シ能ハサルノ確證アル者ハ本
人ノ願ニ由リ徵集ヲ延期ス其事故三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ
國民兵役ニ服セシム但分家又ハ絶家廢家再興ノ故ヲ以テ本條ニ當ル者
其他自活シ能ハサル事故ヲ作爲シタル者ハ其願ヲ許可セス
(註解) 確證云云ハ大隊區徵兵官ノ確証ト認定スルト否トニ委テ殊更其
例ヲ示サス

事故第三年目ニ至ルモ止マサレバ國民兵編入願ヲ差出スヘシ
但書中ノ分家絶家廢家再興ハ本令發布ノ前後ヲ問ハスト雖モ
本令發布前
明治

五年戶籍法制定以 其分家再興ニ基因シ自活シ能ハサルモノハ其願
前ニ遡ルコトナシ
ヲ許可セサルノ精神ナリ又事故ヲ作爲シタルモノト雖モ其願ヲ許
可セスシテ徵集スルニ止マリ本令第三十一條ヲ適用スルコトナシ尤
モ其所爲詐偽ニ出ルモノハ此限リニアラス

(關係) 徵兵事務條例 第十五條 第二十八條 第三十一條 迄 第四十
一條 第三十六條 第六十八條 第七十四條
全條例施行細則 第六條 第十條 第十三條 第十五條
第二十四條 第三十條 第三十一條

○宮城縣問合 二十二年
二月九日

第二項 令第二十條ノ三ケ年及第三十六條第三十七條第三十八條
ノ七ケ年并ニ第四十一條ノ六ケ年ハ適齡年ノ一月ヨリ起算スヘキ
ヤ將々十二月一日ヨリ起算スヘキヤ

陸軍省回答 明治二十二年
三月十二日

第二項令第二十條ノ三ケ年ハ同條ノ事故ニ由リ徵集ヲ延期シタル
年ヨリ其他ハ適齡ノ年ヨリ起算ス

徵兵令

第二十一條 第十一條ニ掲クル學校ニ在校ノ者ハ本人ノ願ニ由リ滿二十六歳迄徵集ヲ猶豫ス其事故滿二十六歳迄ニ止ミ又ハ二十六歳ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラズシテ之ヲ徵集ス但第十一條ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラス

學術修業ノ爲メ外國ニ寄留スル者ハ本人ノ願ニ由リ滿二十六歳迄徵集ヲ猶豫ス二十六歳迄ニ歸朝シ又ハ二十六歳ヲ過キ歸朝スル者ハ抽籤ノ法ニ依ラズシテ之ヲ徵集ス但陸軍試験委員ノ試験ニ及第シタル者ハ一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得

(註解)第一項但書中六ヶ月志願兵ノ加ハラサルノ理由ハ此志願兵ハ本人ト學校トノ關係ヨリ成ルヲ以テナリ

第二項中ノ廿六歳ヲ過キ歸朝スルモノ正當ノ事故アル限り本令第三十條ヲ適用セス

(關係)徵兵事務條例第十五條第二十八條ヨリ第三十一條マテ第四十條ヨリ第四十六條マテ及第六十二條第七十四條

全條例施行細則 第十條第十六條第二十三條
第三十條第三十一條

○帝國大學照會 明治廿二年 三月四日

分科大學卒業直ニ大學院ニ入ル者ハ打續キ帝國大學ニ在學スルニ付徵兵令第廿一條ニ依リ願ニ依リテ徵集猶豫ニ屬スルハ勿論ナルヘケレトモ陸軍一年志願兵條例第十條ニ依リ其年九月三十日マテニ分科大學ヲ卒業スヘキ見込ヲ以テ一年志願兵ヲ出願シ置キタル者卒業試験ノ成績學術優等ナルヲ以テ大學院ニ入學スルノ許可ヲ受ケタル者ハ其年志願兵ノ出願取消ヲ請求シ大學院ニ入學スルコトヲ得ルヤ

陸軍一年志願兵條例第十條ニ依リ一年志願兵出願ノ者病氣等ニテ卒業セサルトキハ右願取消ヲ許可セラルヘヤ

陸軍一年志願兵條例第九條第二項ノ官立學校卒業者ハ其學校ノ卒業ヲ願書ニ定メラレシ處本學々生卒業ハ毎年七月十日ナルヲ以テ

徵兵令

其期日前卒業証書ヲ附與スルヲ得ス尤右條例第十條ニ依リ出願シ得レモ或ハ七月十日卒業ノ上翌年ノ志願兵ヲラフコトヲ出願シ得ヘキヤ

陸軍省總務局回答 明治廿二年 三月七日

第一項第二項意見ノ通り

第三項翌年ノ志願兵ヲラフコトヲ得ス

○大坂府問合 明治廿二年 二月十八日

徵兵令第二十一條第四十條第四十一條ノ但書ハ各其本文年齡二十六歲若クハ六ヶ年ヲ過シル者ニモ適用スベキヤ

陸軍省副官回答 明治廿二年 三月十一日

第一項見解ノ通但第廿一條ノ事故止マサル者ハ滿二十六歲トナル年ニ於テ徵集スルヲ以テ同項但書ハ二十六歲以前ノ者ニ適用ス

○宮城縣問合 明治廿二年 三月九日

第三項令第二十一條ノ滿二十六歲及ヒ第三十九條ノ滿二十七歲ノ生月ヨリ起算スヘキヤ將タ適齡年ノ十二月一日ヨリ起算スヘキヤ

陸軍省回答 明治廿二年 三月十二日

第三項適齡ノ年ヨリ起算シ滿二十六歲又ハ滿二十七歲トナル年ノ徵募事務終結ヲ以テ徵集猶隊ノ分界トス

○宮城縣問合 明治廿二年 三月十六日

小學校教員ニテ徵集猶隊ニナリタル者ニシテ高等師範學校ニ入學セシムルモノハ引繼キ猶豫ニ屬スヘキヤ

陸軍省指令 明治廿二年 三月十八日

同之通但シ更ニ新令第二十一條ニ依ルモノトス

○三重縣問合 明治廿二年 一月廿九日

法律第一号ヲ以テ改正徵兵令公布相成リタルニ就キテハ本年一月ヨリ同十二月マテニ滿二十年トナル者ニシテ本年三月十五日適齡

届出以前縣立尋常師範學校生徒トナリタルモノハ同令第二十一條ニ據リ徵集猶豫相成ルヘキヤ將タ適齡届出後ト雖モ抽籤以前入校ノ者ハ徵集猶豫相成ルヘキヤ

陸軍省總務局長回答 二十二年 二月四日

師範學校生徒猶豫ノ件ハ總テ意見ノ通り

○千葉縣伺 明治廿二年 六月日欠

徵兵令第二十一條若クハ第四十一條ニ依リ徵集猶豫ノ者ハ學科卒業退校ノ上徵集ニ應スヘキハ勿論ナレトモ其卒業ノ期一般身体ノ檢査結了ノ後ニ渡レハ翌年ノ徵募期ヲ待テ之ニ應スルノ手續ヲ爲サ、ルヲ得ス學生ノ目的タルヤ其修メタル學理ヲ應用シ社更ヲ益シ一身ノ方向ヲ定メントスルニ依リテハ卒業ノ期ヲ俟ツコト一日千秋ノ如クナルヘシ例ヘハ体格ニ欠點アリテ兵役ニ堪ヘサルモ仕官又ハ他ノ業務ニ差間ナキモノ往々之アリ然レトモ身体檢査ヲ了

會徵否審明セサレハ其方向ヲ定ムル能ハス空シク一星霜ヲ經過スルニ至リ憫察スヘキ事情アル故ニ其年十一月三十日マテニ卒業ノ見込アルモノハ願ニヨリ豫メ身体檢査ヲナスモ不苦哉

陸軍省指合 明治二十二年 六月日欠

難聞届義ト心得ヘシ

第二十二條 餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル官吏及市町村長助役及収入役ハ豫備兵ニ在ルト後備兵ニ在ルトヲ問ハス勤務演習簡閱點呼ノ爲メ召集スルコトナシ

法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員其開會中亦同シ

(註解)第一項官吏ニハ準官吏ハ含有セス第二項開會中ハ召集日ガ開會日ノ前ナレハ召集シ其開會中ニアレハ召集セス

○閣令第六號 明治廿二年 二月廿七日

明治二十二年法律第一號徵兵令第二十二條ニ當ル餘人ヲ以テ代フヘ

カラサル職務ヲ奉スル官吏ハ豫メ其官廳ヨリ内閣ニ具狀シ認可ヲ請フヘシ

第四章 豫備徴員

第二十三條 抽籤番號ノ順序ニ從ヒ毎年所要ノ現役兵員ニ超過スル壯丁ハ一箇年間ヨリ起算ス豫備徴員トシ戰時若クハ事變ニ際シ兵員ヲ要スルトキ又ハ其年徴集ノ兵員缺クルトキ之ヲ徴集ス

(關係徴兵事務條例 第三十六條ヨリ第三十八條マテ第四十一條第四十條ヨリ第五十一條第五十六條ヨリ第六十一條第六十八條マテ第七十一條第七十九條ヨリ第八十三條第九十條第九十八條マテ第九十九條第三十八條第四十三條第四十四條) 全條例施行細則 第二十三條ヨリ第二十八條マテ第三十二條

○第四師團申請 明治廿二年二月廿一日

補充員服役中ノ者ハ官吏教員等ニ採用スルヲ得サル義ニ之レアリシ處今般改正徴兵令第二十三條及第四十二條ノ豫備徴員ハ現役兵補填 其年十二月ニアリテハ諸官廳ニ於テ適宜採用差支ナキ義ト心得然ルヘキヤ但輜重輸卒ニアリテハ第三期入營 翌年八月以後ハ右

全様心得然ルヘキヤ

陸軍省指令 明治廿二年三月十二日

但書トモ申請ノ通但入營期日ノ前後ニ拘ラズ

第二十四條 豫備徴員ニシテ其期限内ニ徴集セサル者ハ國民兵役ニ服セ

シム

第五章 雜則

第二十五條 毎年一月ヨリ十二月迄ニ滿二十歳ト爲ル者ハ其年ノ一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ書面ヲ以テ 戶主ニ非サル者 本籍ノ市町村長ニ届出可シ但二十歳未滿ニシテ現役ヲ終ヘタル者又ハ現役中ノ者ハ本條ノ届出ヲ爲スニ及ハス

(註解) 戶主不在ナルキハ親戚親戚ナキキハ隣祐ヨリ届書差出サシムヘシ但書ノ現役ハ陸海軍武學生徒 (兵籍ニ編入セサル者ハ除ク) モ含有ス尤モ二十歳未滿ニシテ疾病其他ノ事故ニヨリ現役ヲ罷ムルキハ此限ニアラ

徴兵令

(關係)徵兵事務條例第廿三條第七十四條

全條例施行細則 第二條 第卅二條

○大坂府問合 明治廿二年 二月十八日

徵兵令第二十五條但書現役中ニハ陸海軍諸生徒モ含有スルヤ

陸軍省副官回答 明治廿二年 三月十一日

第二項見解ノ通但兵籍ニ編入セサルモノハ此限ニアラス

○德島縣問合 明治廿二年 二月廿五日

徵兵令第二十五條ノ届書式ハ徵兵事務條例第二書式中頭書ヲ除キ

タルノミニテ然ルヘキヤ

陸軍省總務局回答 明治廿二年 二月廿六日

其書式ハ府縣ニテ適宜定ムル筈ナリ

第二十六條 徵集ハ本籍所在ノ徵募區ニ於テスルヲ例トス他ノ徵募區ニ

ニ寄留スル者ハ願ニ由リ其區ニ於テ徵集ニ應ムルコトヲ得

(註解)寄留ハ全戸單身ノ區別ナシ但警備隊區ノ者ト各大隊區ノ者トハ

互ニ其寄留地ニ於テ應徵ヲ許サレヌ

(關係)本條ノ徵募區及出願期限並手續等ハ徵兵事務條例第三條第六十

三條第七十條第七十四條全條例施行細則第三十一條

○新瀛縣問合 二十二年 五月二日

寄留地應徵者ノ内令第二十條ノ事故ヲ生シ延期願出ル者アルトキ

ハ其願書ハ寄留地ノ郡市役所ニ於テ取扱フヘキヤ將タ本籍徵募區

ノ郡市役所ニ於テスルヲ至當トスルヤ

陸軍省總務局回答 二十二年 五月廿四日

前段見込ノ通リ

○埼玉縣問合 二十二年 四月廿九日

徵兵令第二十六條ノ寄留地應徵願濟ノ者ニシテ止ヲ得サル事故ヲ

徵兵令

生シ本籍其他ノ地ニ於テ徵集ニ應シ度旨願出ルニ於テハ願意差許
スモ苦シカラヌヤ又ハ一旦許可ヲ得タル上ハ如何ナル事故ヲ生ス
ルモ其應徵地ヲ變スルコトヲ得サルヤ

陸軍省指令 二十二年
五月廿四日

前段伺之通

○宮崎縣伺 明治二十二年
五月三十一日

徵兵令第二十六條ノ寄留地應徵願濟ノ者ニテ止ムヲ得サル事故ヲ
生シ本籍其他ノ地ニ於テ徵集ニ應シ度旨願出ツルニ於テハ願意差
許スモ苦シカラヌヤノ旨去月二十九日埼玉縣伺ニ對シ前段伺ノ通
ト指令アリシカ右ハ検査後ト雖モ願意許可苦シカラサル義ナルヤ
果シテ然ラハ右許可等ノ手續ハ徵兵事務條例施行細則第三十一條
ニ準據シ然ルヘキヤ

陸軍省指令 明治二十二年
六月十一日

抽籤前ハ伺之通

第二十七條 疾病又ハ犯罪等ノ爲メ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ翌年之ヲ

徵集ス

(註解)犯罪等ノ内ニハ逃亡失踪モ含有ス而シテ本條ニ當ルモノハ翌年

検査ヲ爲サスシテ徵集ス

(關係)徵兵事務條例第六十五條

全條例施行細則第三十九條

第二十八條 兵役ヲ免レンカ爲メ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐偽ノ
所爲ヲ用ヒ又ハ逃亡若クハ潛匿シタル者又ハ正當ノ事故ナク身體ノ檢
査ヲ受ケサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス

(註解)徵集スルハ裁判確定後ニ限ル但刑ノ期滿免除モ亦同シ尤公訴期

滿免除ノ如キハ參事員審議ノ上徵集ス

舊令四十一條ノ處分殘リノモノハ本條ニ照ラシ抽籤ノ法ヲ用ヒス

徵兵令

徵集ス

(關係徵兵事務條例施行細則) 第二十三條 第二十四條 第四十三條

第二十九條 現役年期ノ計算ハ總テ其入營スル年ノ十二月一日ヨリ起算シ豫備役及後備役年期ノ計算ハ其轉役スル年ノ十二月一日ヨリ起算ス第六條ニ依リ延期シタル者モ其起算法亦同シ但禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレ又ハ逃亡若クハ失踪シタル者其刑期中及逃亡失踪中ノ日數ハ服役年期ニ算入セス

(註解) 年期ノ計算ハ從前ノ通但書ノ計算方總テ在郷兵モ同シ

第六章 罰則

第三十條 第二十五條ノ届出ヲ爲サ、ル者及正當ノ事故ナク身体ノ檢査ヲ受ケサル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 兵役ヲ免レンカ爲メ逃亡シ又ハ潜匿シ若クハ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐偽ノ所爲ヲ用ヒタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮

ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第七章 附則

第三十二條 本令ハ明治二十二年一月ヨリ施行ス但第二十五條ノ届出期限ハ明治二十二年ニ限り三月一日ヨリ同月十五日迄トス

第三十三條 本令ハ北海道ニ於テ函館江差福山ヲ外ノ外及沖繩縣並東京府管下小笠原島ニハ當分之ヲ施行セス

第三十四條 本令中市町村長トアルハ市制町村制ヲ實施スル迄ノ間戸長ノコト、ス

第三十五條 舊令第十一條ニ依リ一箇年間陸軍現役ニ服シタル者ハ本令第十一條ニ照シ二箇年間豫備役ニ五箇年間後備役ニ服セシメ其豫備役二箇年ヲ終リタル者ハ直ニ後備役ニ服セシメ通シテ七箇年トス

(參照舊令第十一條 年齡滿十七歲以上滿二十七歲以下ニノ官立府縣立學校(小學校ヲ除ク)及文部大臣ニ於テ認メタル之ト同等ノ學校ノ卒業証

書ヲ所持シ服役中食糧被服等ノ費用ヲ自辨スルモノハ願ニヨリ一箇年間陸軍現役ニ服セシム

其技藝ニ熟達スル者ハ若干月ニシテ歸休ヲ命スルコトアル可シ但常備兵役ノ全期ハ之ヲ減スルコトナシ

第三十六條 舊令第十七條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

(參照舊令十七條 左ニ掲タル者ハ徵集ヲ猶豫ス但其年補充員不足スルトキ又ハ戰時若クハ事變ニ際シ兵員ヲ要スルトキハ之ヲ徵集ス

第一項 兄弟同時ニ徵集ニ應スル者ノ内一人及ヒ現役兵ノ兄或ハ弟一人

第二項 現役中死没又ハ公務ノ爲メ負傷シ若クハ疾病ニ罹リ免役シタル者ノ兄或ハ弟一人

第三項 戸主年齢六十歳以上ノ者ノ嗣子或ハ承祖ノ孫

第四項 戸主癡疾又ハ不具等ニシテ一家ノ生計ヲ營ムコト能ハサル者ノ嗣子或ハ承祖ノ孫

第五項 戸主

○石川縣伺 明治廿二年二月十六日

徵兵令第三十六條ハ昨二十一年徵兵(相當異動トモ)コシテ未タ第二豫備徵員ニ編入セラレサル(舊令ニヨレハ十二月一日ニ至)ノミニ適用スル義ナルヤ

全第三十六條ニ猶豫ニ屬シタルモノトアリ右ハ昨廿一年徵兵(相當異動トモ)ニノ舊徵兵事務條例第六十三條ノ裁決濟ノ者ノミニテ同年徵兵署閉鎖後猶豫ノ事故止ニ舊令第十七條ノ資格ヲ得タル者ハ含有セサルヤ

陸軍省總務局回答 明治廿二年三月四日

第一項ハ意見ノ通

徵兵令

第二項ハ新令發布前即チ一月廿一日マテニ舊令第十七條ノ資格ヲ得タルモノハ含有ス

○大坂府問合 明治廿二年 二月十八日

徵兵令第三十六條乃至第三十八條及第四十一條中何ケ年トアルハ各自年齢ニ拘ラス例ヘハ文久元年五月生(即チ明治十)ニシテ明治十二年第四十六号布告徵兵令ニ依リ平時兵役ニ屬セシ者其後右兵役名稱ヲ罷メ再ヒ舊令第十八條ニ當ル資格ヲ得タルニ由リ更ニ全條ニ依リ處分セシ者ノ如キハ其處分セシ年ヲ以テ第一年トシ其第七年若クハ第六年目ノ十二月マテヲ以テ分界トスヘキヤ

陸軍省副官回答 明治廿二年 三月十一日

第三項適齡年ヨリ起算シ第七年第八年目ノ徵集事務終結ヲ以テ分界トス

第三十七條 舊令第十八條第二項ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ

延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシ

(參照舊令第十八條第二項 官立府縣立學校小學校ノ卒業證書ヲ所持スルモノニシテ官立公立學校教員タル者

○宮城縣伺 明治廿二年 三月十二日

本年法律第八号ニヨリ徵集ヲ延期スル者ハ徵兵事務條例第六十二條ニ準シ出願許可ヲ受クヘキモノナルヤ又本年適齡ニシテ昨年師範學校ヲ卒業シ學校教員タルモノハ延期セラレサルヤ

陸軍省指令 明治廿二年 三月十六日

前段ハ願出ニ及ハス届出シムヘシ 後段ハ延期ニ屬ス

第三十八條 舊令第十八條第七項及第二十一條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民

徵兵令

兵役ニ服セシム

(參照舊令第十八條七項 學術修業ノ爲メ外國ニ寄留スル者

舊令二十一條 官省院廳府縣ニ於テ余人ヲ以テ代フヘカラサル技術

ノ職ヲ奉スル者ハ太政官ノ決裁ニ依テ徵集ヲ猶豫スルコトアルヘシ

第三十九條 舊令第十八條第三項ノ生徒ニシテ第一豫備徵員ト爲リ仍ホ

在校ノ者ハ該徵員タルコトヲ止メ滿二十七歲迄徵集ヲ猶豫シ其事故二

十七歲ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

(參照舊令第十八條第三項 官立大學校及ヒ之ニ準スル官立學校本科生徒

○大坂府問合 明治廿二年 二月十八日

徵兵令第三十九條中年齡滿二十七歲マテニ其事故ノ止ミタル者其

年徵集スル能ハサルキハ廿七歲ヲ過クルモ翌年之ヲ徵集スヘキヤ

陸軍省副官回答 明治廿二年 三月十一日

第四項徵募事務終結後ニ係ル者ハ徵集セズ

第四十條 第三十六條第三十七條第三十八條及第三十九條ニ掲クル者其

事故各其本條ノ期限内ニ止ミタルトキハ抽籤ノ法ニ依リ徵集ス但一年

志願兵ヲ志願スルコトヲ得

○山口縣伺 明治廿二年 三月十六日

十七年以前ノ徵兵相當者取扱方ハ去ル十一月官報長崎縣伺ヘ指令

ノ通トスレハ新令三十七條乃至三十九條四十一條ハ十八年以後ノ

相當者ト心得可然哉

陸軍省指令 明治廿二年 三月十九日

伺之通

第四十一條 舊令第十八條第三項若クハ第十九條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シ

在校ノ者ハ其事故六箇年以内ニ止ミタルトキ又ハ六箇年ヲ過クルモ仍

ホ止マサルトキハ抽籤ノ法ニ依リ徵集ス但一年志願兵ヲ志願スルコト

ヲ得

(參照)舊令第十九條 官立府縣立學校小學校ヲ除クニ於テ修業一ケ年以上ノ課程ヲ卒リタル生徒ハ六ケ年以内徵集ヲ猶豫ス

○法律第八號 明治廿二年三月六日

官立府縣立師範學校生徒ニシテ明治二十二年中ニ卒業スルモノハ徵兵令第四十一條ニヨラス直ニ官立公立ノ學校ノ教員トナルコトヲ得其教員トナリタル者ハ全令第三十七條ニヨリ處分スヘシ

第四十二條 舊令第三十條ニ依リ補充員ト爲リタル者ハ之ヲ豫備徵員ト爲シ一箇年間 明治二十一年十二月一日ヨリ起算ス 徵集セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

(參照)舊令第三十條 補充員ハ補充籤ヲ抽キタル者ヲ以テ一ケ年間之ニ充ツ其期限内現役兵缺員ナルトキ又ハ戰時若クハ事變ニ際シ兵員ヲ要スルトキ其番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ徵集ス

補充員ノ數ハ概テ現役徵員五分ノ二ヨリ少カラサルモノトス

第四十三條 舊令第三十一條ニ依リ第一豫備徵員ト爲リ在校セサル者及

舊令第三十二條ニ依リ第二豫備徵員ト爲リタル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシム補充員ヨリ第一豫備徵員ト爲リタル者亦同シ

(註解)明治廿一年抽籤後新令發布前舊令第三十二條但書ノ資格ヲ失ヒタルモノモ國民兵役ニ服セシム

(參照)舊令第三十一條 補充員ニシテ其期限内徵集ノ命ナキモノ及ヒ第十八條第三項ノ生徒ニシテ三ケ年以上ノ課程ヲ卒リタル者ハ年齡滿二十七歲迄之ヲ第一豫備徵員トス

舊令第三十二條 第十七條ニ當ル者ニシテ其年徵集ノ命ナキ者第十八條第廿一條ニ當ル者ニシテ七ケ年間其事故ノ存スル者及ヒ第一豫備徵員ヲ終リタル者年齡滿三十二歲迄ハ之ヲ第二豫備徵員トス但第十七條ニ當ル者第二豫備徵員ト爲リタル後六ケ年間ニ該條ニ掲クル資格ヲ失ヒタルトキハ現役ニ徵集ス

○岡山縣伺 明治廿二年二月廿一日

徵兵令

當縣阿賀郡西方村山田準儀二十二年第二次徵兵適齡ニテ帝國大學本科ニケ年以上ノ科程ヲ卒リタル生徒ニ付身體檢査ヲ受ケサセヘキノ處當時其手續ヲ延ハセリ然ルニ本人ハ昨年七月卒業シ在校地ニ寄留セシヲ以テ其地ニ於テ檢査ヲ受ケサセタキ旨同年八月二十一日兵事第四號ヲ以テ伺ヒシニ同三十日伺ノ通ト指令アリ依テ在籍郡長ヨリ寄留地區長ヘ檢査ノ義ヲ照會ニ及ヒタルニ徵兵署閉鎖後ニ付本年徵兵署開設ノ節更ニ申越アリタキ旨回答アリ遂ニ檢査未濟トナレリ然ルニ今般徵兵令改正相成リシニ付テハ同人更ニ檢査ヲ受ケサセ合格スルトキハ令第四十三條ニ準シ直ニ國民兵ニ編入相成ルヘキ義ナルヤ將々檢査之ナクシテ該條ニ準シ直ニ國民兵ニ編入相成ルヘキヤ

陸軍省指令 明治廿二年
三月六日
後段伺ノ通り

第四十四條 明治十二年第四十六號布告徵兵令ニ依リ國民軍ノ外免役又

ハ平時免役若クハ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシム

(註解)明治廿一年抽籤後新令發布前本條ノ資格ヲ失ヒタルモノモ國民兵役ニ服セシム

(參照)十二年十月廿七日第四十六號布告

徵兵令第二十八條左ニ掲クル者ハ國民軍ノ外兵役ヲ免ス

第一項 戸主

但徵兵年齡以前ニ分家シ又ハ新ニ分家シタル女戸主ニ入婿シ或ハ絶家ヲ再興シ及ヒ年齡五十歲未滿ノ者隱居シ養子又ハ相續人ニシテ其跡ヲ續キタル戸主ハ此限ニ非ラス

第二項 獨子(嗣子)獨孫(承祖ノ孫)

但姊妹ノ有無ヲ問ハス

第三項 年齡五十歲以上ノ者ノ嗣子或ハ承祖ノ孫

徵兵令

- 但徴兵年齢以後ノ嗣子或ハ承祖ノ孫ヲ分家シ或ハ五十歳未滿ノ者ノ養子(本家ノ故ヲ以テ己ムヲ得サル者ヲ除ク)トシ又ハ絶家ヲ再興シ或ハ新タニ分家シタル女戸主ニ入婿シ其他ノ子孫ヲ以テ徴兵年齢以前ニ更ニ定メタル嗣子或ハ承祖ノ孫ハ此限ニ非ス
- 第四項 年齢五十歳以上ニシテ嗣子ナキ者ノ養子(嗣子)或ハ相續人但隱居後別家シテ特ニ定メタル嗣子或ハ相續人ハ此限ニ非ス
- 第五項 年齢五十歳未滿ト雖モ癡疾又ハ不具等ニシテ産業ヲ營ムコト能ハサル者ノ嗣子承祖ノ孫及ヒ養子(嗣子)或ハ相續人
- 第六項 官吏判任以上及ヒ教導職試補以上並ニ戸長
- 第七項 府縣會ノ議長副議長及ヒ議員
- 第八項 公立學校教員及ヒ文部省所轄並其他省使ニ屬スル官立學校教員

第二十九條 左ニ掲グル者ハ平時ニ於テ兵役ヲ免ス

- 第一項 年齢五十歳未滿ノ者ノ嗣子或ハ承祖ノ孫但徴兵年齢以後ノ嗣子或ハ承祖ノ孫ヲ分家シ或ハ五十歳未滿ノ者ノ養子(本家ノ故ヲ以テ己ムヲ得サル者ヲ除ク)トシ又ハ絶家ヲ再興シ或ハ新タニ分家シタル女戸主ニ入婿シ其他ノ子孫ヲ以テ徴兵年齢以前ニ更ニ定メタル嗣子或ハ承祖ノ孫ハ此限ニ非ス
- 第二項 陸海軍生徒並ニ海軍兵器局及ヒ造船所定雇職工
- 第三項 陸海軍常備在役中死没又ハ公務ニ因リ疾病或ハ傷疾ヲ受ケ退隱セシ者ノ兄或ハ弟一人但豫備軍又ハ後備軍服役中公務ニ起因シタル疾病死没モ亦此例ニ準ス
- 第四項 醫術開業免狀ヲ所持スル者
- 第五項 公立使府縣ノ設立ニ係ル以下公立ト稱スル者之ニ同シ師範學校ニ於テ卒業ノ者

徴兵令

第六項 公立中學校及ヒ公立專門學校ニ於テ卒業ノ者

第七項 文部省所轄官立學校及ヒ其他省使ニ屬スル官立學校ニ於テ卒業ノ者

但官立師範學校附屬小學校ノ生徒ハ此限ニ非ス

第八項 外國ニ留學シテニケ年以上ノ學科ヲ終リタル證書ヲ所持スル者

第九項 海員試驗免除規則ニ遵ヒ船長運轉手及ヒ機關手ノ免狀ヲ所持スル者

第十項 海員雇入雇止規則ニ遵ヒ三年以上海上ニ在テ水大夫ノ業ヲ執リタル者

第三十條 左ニ掲ル者ハ平時ニ於テ一ケ年ヲ限リ徵集ヲ猶豫スヘシ

第一項 海軍兵員ト爲ランコトヲ志願スル者

第二項 兄弟同時ニ徵兵ニ當ル者偶數ハ其半數奇數ハ其寡數(例ヘ

ハ三人ハ一人五人ハ二人他皆之ニ做フ)

第三項 陸海軍常備在役中ノ下士卒ノ兄或ハ弟一人

第四項 陸海軍生徒ノ兄或ハ弟一人

但本條第二項乃至第四項ノ場合ニ於テ其兄或ハ弟ノ中一人不合格ナルキハ此例ニアラス

第五項 父及ヒ兄或ハ父ナクシテ兄失踪又ハ癡疾不具等ニテ産業ヲ營ムコト能ハス本人ヲ要セサレハ一家ノ生計ヲ失フ者

第六項 文部省所轄並ニ其他省使ニ屬スル官立學校及ヒ公立師範學校ニ於テ修業一ケ年ノ課程ヲ卒リタル以上ノ生徒

第七項 公立中學校及ヒ公立專門學校ニ於テ修業三ケ年ノ課程ヲ卒リタル以上ノ生徒

第八項 學術修業又ハ商用等ニテ外國ヘ寄留スル者

第九項 身幹來タ定尺ニ滿タヌ又ハ疾病中或ハ病後ノ故ヲ以テ仍徵兵令

ホ未タ勞役ニ堪ユルヲ能ハサル者

第十項 刑事被告人ト爲リ裁判未決ノ者

○長崎縣伺 二十二年 二月廿一日

第一條 新徵兵令第四十四條ニ明治十二年第四十六号徵兵令ニヨリ國民軍ノ外免役又ハ平時免役若クハ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシムト之アリ右ハ免役若クハ猶豫等ノ事故繼續ノ者ヲノ直ニ國民兵役ニ服セシメラルヘキ義ト見解セリ就キテハ新令施行前十六十七年兩年徵兵ニシテ舊令ニ照シ徵集ニ屬スヘキ異動ヲ生シタル者ハ無論徵集ニ應セシムヘキ義ト心得然ルヘキヤ

第二條 前條異動者ニシテ若シ届出ヲ怠ルモ新令施行後ニ至リ檢出スルキハ尋常兵同様取扱ヒ別ニ告發ノ手續等ヲ要セサル義ト心得可然哉但本條届出ヲ怠リシ者他年檢出スルキハ去ル十八年

御省達甲第四十二號達ニ依リ取扱可然哉

第三條 新令第三十二條ニ本令ハ明治二十二年一月ヨリ施行スト之アリ右ハ發布ノ日ヲ指稱セラレタル義ナルヤ

陸軍省指令 明治廿二年 三月七日

第一條 ハ國民兵役ニ服セシムルモノトス

第二條 ハ前指令ニ依リ了解スヘシ

第三條 ハ伺之通

○宮崎縣伺 明治廿二年 二月廿六日

明治十二年第四十六號布告徵兵令ニ依リ國民軍ノ外免役又ハ平時免役若クハ徵集猶豫ノ者 明治十五年以後 及舊徵兵令ニ依リ徵集猶豫ニ該ル者ヲ除ク又ハ第二豫備徵員トナリタル者ニシテ昨年十一月廿一日以後新令施行即チ本年一月廿一日以前其事故止ミ若クハ其資格ヲ失ヒタルトキハ徵集相成ルヘキ義ナレトモ新令ニハ其異動ヲ

届出ヘキノ成文之ナシ右ハ如何取扱ヒ可然哉

陸軍省指令 明治廿二年 三月九日

舊令ニ依リ猶豫ノ者ニテ昨年十一月廿一日後新令發布前事故止ミ又ハ資格ヲ失フ者ハ戸長ヲシテ調査令シムヘシ其他ハ右時日前后ヲ問ハズ新令第四十三條第四十四條ニ依リ直ニ國民兵役ニ服スルモノトス

○大分縣問合 明治廿二年 三月八日

爰ニ十二年第四十六號徵兵令第三十條第六項末段ニ依リ一ケ年徵集猶豫ニ属シ十九年ニ至リ該校ヲ卒業シ直ニ教員トナリタルヲ以テ舊徵兵令第十八條第二項ニ依リ更ニ異動徵集猶豫ノ處分ヲ爲シタル者アリ右改正徵兵令施行後ニ於テ其資格ヲ失ヒタル者未タ舊令常備年期ヲ終ラサルニ於テハ改正徵兵令第四十四條ヲ適用スヘカラサルモノナルヤ

陸軍省總務局回答 明治廿二年 三月十四日

十二年四十六號徵兵令ニ依リ猶豫ニ属シタルモノハ舊令猶豫ノ資格ヲ失フト否トヲ問ハズ新令第四十四條ニ依ルヘシ

第四十五條 舊令第八條ニ依リ海軍兵ト爲リタル者ノ服役期限ハ同令第三條及第四條ニ依ル

(參照)舊令第八條二項 海軍現役兵ハ海軍所要ノ人員ニ應シ沿海地方及ヒ島嶼ノ人民ヲ調査シ海軍ニ適スル職業ニ從ヒ水兵火夫職工等ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充ツ但海軍志願兵徵募規則ニ依リ就役スル者ハ本令ノ限ニ在ラス警備隊ヲ置キタル島嶼ノ壯丁ハ悉皆之ヲ警備隊ニ充テ該地内ニ於テ服役セシム但在營時間ハ一ケ年以内トス

舊令第三條 常備兵役ハ別チテ現役及ヒ豫備役トス其現役ハ三ケ年ニシテ年齡滿二十歳ニ至リタルモノ之ニ服シ其豫備役ハ四ケ年ニシ

テ現役ヲ終リタルモノ之ニ服ス

舊令第五條 後備兵役ハ五ヶ年ニシテ常備兵役ヲ終リタル者之ニ服ス

第四十六條 第三十六條第三十七條第三十八條ニ掲クル徵集延期ノ者及第三十九條第四十一條ニ掲クル徵集猶豫ノ者其事故各其本條ノ期限内ニ止ミタルトキハ三日以内ニ本籍ノ市町村長ニ届出可シ

前項ノ届出ヲ爲サ、ル者本令施行前舊令第三十五條第三十六條ノ届出ヲ爲サスシテ本令施行後ニ於テ發覺スル者ハ本令第三十條ニ依リ處分ス可シ

(註解)本條ノ届出ハ本人ヨリスルモノナリ
(參照)舊令第三十五條 毎一年一月ヨリ十二月迄ニ年終時

二十歳ト爲ル者ハ其年ノ四月一日ヨリ同月十五日迄ニ書面ヲ以テ戸主ヨリ本籍ノ戸長ニ届出可シ若シ届出、後其年十一月二十日迄ニ異動ヲ生シタルトキハ其事由ヲ詳記シ三日以内ニ本籍ノ戸長ニ

届出可シ但二十歳未滿ニシテ現ニ服役スル者ハ届出ルニ及ハス
舊令第三十六條 第十七條ニ當ル者其資格ヲ失ヒ第十八條第十九條第二十一條ニ當ル者其事故止ニ及ヒ第三十二條但書ニ當ル異動ヲ生シタルトキハ其事由ヲ詳記シ其年十一月二十一日以後十二月三十一日迄ニ係ル者ハ翌年四月一日迄ニ戸主ヨリ本籍ノ戸長ニ届出可シ但四月十六日以後十一月二十日以前本條ニ當ル者ハ三日以内ニ本籍ノ戸長ニ届出可シ

○勅令第十三號 明治廿二年
二月廿五日

四十六

徵兵事務條例

第一章 徵兵區

第一條 徵兵區ハ師管旅管及大隊區又ハ警備隊區ノ區域ニ從フ

第二條 大隊區及警備隊區ハ更ニ之ヲ徵募區ニ分ツ

第三條 徵募區ハ一郡又ハ一市ヲ以テ一區ト爲ス

一市ニシテ二大隊區ニ分屬スルモノハ各別ニ一區ト爲ス

數郡ニ一郡役所ヲ置クモノハ數郡ヲ併セ一區ト爲ス其島廳ヲ置クモノ亦同シ

第四條 常備步兵各聯隊ノ兵員ハ其旅管内最寄二大隊區ヨリ徵集スルヲ例トシ不足スルトキハ同管内他ノ大隊區ヨリ補充ス

近衛步兵隊及騎兵隊ノ兵員ハ各師管ヨリ其他ノ兵員ハ第一師管ヨリ徵集ス

警備隊ノ兵員ハ其警備隊區ヨリ徵集ス

海軍兵員ハ各師管内沿海及島嶼ヲ包括スル大隊區ヨリ徵集ス

第二章 徵兵官

第五條 徵兵官ハ總理徵兵官師管徵兵官旅管徵兵官大隊區徵兵官及警備隊區徵兵官トス

(註解)徵兵署及徵兵官ノ印ハ各首坐ニ於テ調製ス

第六條 總理徵兵官ハ內務大臣及陸軍大臣ヲ以テ之ニ充テ全國徵兵ノ事ヲ統轄ス

第七條 師管徵兵官ハ師管内府縣毎ニ師團長及府縣知事ヲ以テ之ニ充テ師團長ヲ首座トシ其管内府縣徵兵ノ事ヲ統轄ス

第八條 旅管徵兵官ハ旅管内府縣毎ニ旅團長及府縣書記官ヲ以テ之ニ充テ旅團長ヲ首座トシ其管内府縣徵募事務ヲ執行ス

第九條 大隊區徵兵官ハ大隊區内徵募區毎ニ大隊區司令官及島司若クハ

徵兵事務條例

四十七

郡市長ヲ以テ之ニ充テ警備隊區徵兵官ハ警備隊司令官及島司若クハ郡長ヲ以テ之ニ充テ大隊區司令官又ハ警備隊司令官ヲ首座トシ其區内徵募準備事務ヲ執行ス

第十條 毎年徵募事務及徵募準備事務執行中ハ陸軍二等軍醫正一名並府縣徵兵參事員四名ヲ以テ旅管徵兵委員ヲ組織シ又陸軍一二三等軍醫一名並郡市徵兵參事員又ハ島嶼徵兵參事員各四名ヲ以テ大隊區徵兵委員又ハ警備隊區徵兵委員ヲ組織シ第十四條第十五條ノ事務ヲ掌ラシム

(註解)執行中ハ徵兵事務取扱中トス而シテ旅管徵兵署ノ參事員ハ兩旅管ニ跨ルモ四名ニテ可ナリ參事員意見ハ仮令其員中欠席等アルモ徵兵官ニ於テ全員ノ意見ト見做ス

第十一條 府縣徵兵參事員ハ府縣常置委員ノ互選ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 郡市島嶼徵兵參事員ハ其郡市島嶼内ノ選舉ヲ以テ之ヲ定ム
郡市島嶼徵兵參事員ノ選舉人被選舉人資格選舉ノ方法及任期ハ總テ府縣

會議員ノ例ニ依ル但被選人ハ其郡市島嶼内ニ現住ノ者ニ限ル

(註解)第二項ノ現住ハ本籍ヲ定メ尙其他ニ現住ノ者トス

○三重縣伺 明治廿二年三月廿一日

勅令第十三號徵兵事務條例第三條第二項ニ數郡ニ一郡役所ヲ置クモノハ數郡ヲ併セテ一區ト爲スト之アリ即チ行政ノ區域ヲ以テ一徵募區ト定メラレタル義ニ付同條例第十條ノ郡市參事員ハ一徵募區毎ニ四名ヲ選舉セシメ然ルヘク考ヘラレトモ其第十二條二項ニ郡市徵兵參事員ノ選舉人被選舉人資格選舉ノ方法及任期ハ總テ府縣會議員ノ例ニ依ル云々ト之アリ本條ニヨルトキハ行政ノ區域ニ關セス固有ノ郡ヨリ各四名ツ、選舉セシメサルヲ得ス右ハ如何

解釋シ然ルヘキヤ

內務省指令 明治廿二年四月五日

郡市徵兵參事員選舉ノ義ハ一徵募區ニ四名ヲ選舉スヘシ

徵兵事務條例

第十三條 府縣徵兵參事員及郡市島嶼徵兵參事員ハ互ニ兼ヌルヲ得ス

第十四條 陸軍二等軍醫生ハ旅管内徵兵身体検査ノ事務ヲ掌リ陸軍一二三等軍醫ハ專ラ身体検査ニ從事ス

第十五條 府縣郡市及島嶼徵兵參事員ハ徵集延期及徵集猶豫ニ關スル事件並徵兵令第二十八條ニ關スル事件ヲ審議シ意見ヲ徵兵官ニ具申スルヲ任トス但徵兵官ノ裁決ニ付可否ヲ議スルノ權ナキモノトス

(註解)本條中ノ第二十八條ニ係ル件ハ悉ク參事員ニ審議セシムルノ意ニ非ラス仮令ハ公訴期滿免除ノ如キハ審議ニ裁判確定ノモノハ審議ヲ要セサルノ類ナリ

○千葉縣伺 明治廿二年五月廿五日

縣郡徵兵參事員事故有之全員欠席スル場合ト雖モ假決終決ノ裁定及ヒ身体検査抽籤等ノ事務執行スル義ハ勿論差支無之義ト相心得可然哉

内務省指令 明治廿二年五月三十一日

伺之通

第十六條 第十條ニ掲クル徵兵委員ノ外旅團副官一名府縣屬若干名地方徵兵委員一名ヲ以テ旅管徵兵署事務員トシ大隊區書記又ハ警備隊書記各一名嶋廳附府縣屬又ハ郡市書記各一名地方徵兵委員若干名ヲ以テ大隊區徵兵署事務員又ハ警備隊區徵兵署事務員トス

(註解)大隊區徵兵署事務員タル郡市書記ハ郡市廳ノ見込ヲ以テ増員スルモ妨ケナシ徵兵費ニ關シ地方徵兵醫員ノ雇入ハ一徵募區毎ニナスモ一府縣下ヲ雇續スルモ各府縣知事ノ適宜トス

(參照)陸軍省訓令甲第四號 明治廿二年三月十八日

徵兵事務條例第十六條ノ大隊區又ハ警備隊區徵兵署事務員タル地方徵兵醫員ハ一徵募區ニ四名ヲ採用スヘシ

○福岡縣伺 明治廿二年三月一日

徵兵事務條例

徵兵事務條例第十六條ニ依レハ府縣屬ハ旅管徵兵署ノ事務ヲ調理
 スル義ナルカ郡市書記ノ事務上監査等ノ爲メ府縣知事ノ見込ヲ以
 テ屬官ヲ各大隊區徵兵署又ハ檢査所へ出頭セシムルモ差支ナキヤ
 陸軍省指令 明治廿二年 三月三十日
 伺之通

○新瀉縣伺 明治廿二年 三月廿三日

徵兵事務條例第十六條ノ地方徵兵醫員ハ一徵募區毎ニ四名ヲ採用
 スヘキ筈ナレトモ當縣ハ總テ十七徵募區ニシテ右各別ニ四名ツ、
 トスレハ六十七人ヲ採用セサル可カラズ然ルニ其資格ヲ具フル内
 務省免許開業醫ニ此ノ如キ多員ヲ求メントスルモ忽チ其人ニ乏ク
 又醫員各自ニ取リテモ平生夫々開業ヲ爲シ居ルモノニ對シ僅々一
 徵募區檢査ノ少日數間ノミニ自家ノ專業ヲ擲チ應セシムルモ實際
 覺束ナク又一徵募區毎ニ其人ヲ習フルトキハ事務習熟ノ便ナク旁

々差支ヲ生スルニ付當縣ニ於テハ兩大隊區包括内ニ各四名ヲ採用
 シ一大隊区内ハ各徵募區ヲ通シテ巡回セシメタク右ニ付キテハ甲
 徵募區ヨリ乙丙ノ徵募區へ移ル時ノ旅費日當モ無論支給セサルヲ
 得サル義ナレトモ前陳實際已ニ得ザル次第ナルヲ以テ聞届相成
 度

内務省指令 明治廿二年 四月五日 伺之通

第十七條 旅團副官府縣屬大隊區書記警備隊書記島廳附府縣屬及郡市書
 記ハ徵兵署ノ庶務ニ從事ス
 (註解)徵兵署ノ名稱ハ次ノ如シ

第一(二)旅管徵兵署
 何大隊區徵兵署
 第十八條 地方徵兵醫員ハ府縣知事ノ選テ以テ之ヲ命ス陸軍醫官ノ指揮
 ヲ受ケ身軀檢査ノ事ヲ補助ス

徵兵事務條例

(註解) 地方徴兵醫員ノ資格並ニ手當ハ從前ノ例リ依ル

第三章 配賦

第十九條 毎年徴集スヘキ新兵ノ員數ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 陸軍大臣ハ第十九條ノ勅令ニ基キ近衛新兵及海軍新兵ノ要員ヲ各師管ニ配賦ス

第二十一條 師團長ハ新兵ノ要員ヲ各旅管ニ旅團長ハ之ヲ各大隊區ニ大隊區司令官ハ之ヲ各徴募區ニ配賦ス

第二十二條 新兵ノ配賦ハ壯丁ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ム

第四章 徴募準備

第二十三條 町村長ハ毎年徴兵令第二十五條ノ届書ヲ戶籍簿ニ照較シ壯丁名簿ヲ作り三月一日迄ニ島司又ハ郡長ニ差出シ島司郡長ハ點檢ノ後之ヲ一徴募區ニ取纏メ前年假決ノ諸名簿ト共ニ大隊區徴兵署又ハ警備隊區徴兵署ニ提出スヘシ

市町ハ前項ノ例ニ依リ壯丁名簿ヲ作り前年假決ノ諸名簿ト共ニ之ヲ大隊區徴兵署ニ提出スヘシ

(註解) 郡市長ハ壯丁名簿ニ人名書舊壯丁名簿ヲ作り添ヘテ提出ス可シ如キモノノ如キモ徴兵令第廿五條ノ各自届書ハ町村長役所ニ置クヘシ全戶逃亡失踪者ノ壯丁名簿ハ町村長ニ於テ戶籍ニ依リ調製スルモノトス

(關係) 徴兵事務條例施行細則第一條

第二十四條 毎年徴募準備事務執行ノトキハ各徴募區ニ大隊區徴兵署又ハ警備隊區徴兵署ヲ設ク

土地廣潤壯丁多數ノ徴募區ニ在テハ數箇ノ徴兵檢査所ヲ設クルコトヲ得

(註解) 一徴募區ノ各檢査所ノ檢査終ルマテハ其徴募區ノ大隊區徴兵署ニハ閉鎖セス

第二十五條 大隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ島司郡市長ニ協議シ徴兵

徴兵事務條例

署及検査所巡回日割ヲ定メ之ヲ旅管徴兵官ニ申報ス可シ
島司郡市長ハ検査ノ日時徴兵署及検査所設置ノ場所ヲ豫メ其管内ニ告
示ス可シ

(註解)徴兵署及検査所巡回日割ヲ定ムルキハ大隊區司令官ニ於テ該日
割書ニ通テ調製シ各別ニ旅管徴兵官ニ送致ス可シ

(關係)事務條例施行細則第三條

第二十六條 兵役ノ適否ヲ定ムル爲メ大隊區徴兵署又ハ警備隊區徴兵署
及検査所ニ於テ壯丁ノ身体検査ヲ行フ其検査ハ徴兵委員ノ面前ニ於テ
スルモノトス

第二十七條 大隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ壯丁ノ身体検査ノ事ヲ監
督シ兵種ノ選定ニ任ス

第二十八條 島司郡市長ハ徴集延期徴集猶豫ニ關スル書類ノ調査及事實
ノ審覈ニ任ス

第二十九條 壯丁ノ身体検査終ルトキハ大隊區徴兵官又ハ警備隊區徴兵
官ハ徴兵検査名簿徴集延期名簿及徴集猶豫名簿ヲ作ル可シ

(關係)事務條例施行細則第十三條

第三十條 大隊區徴兵署又ハ警備隊區徴兵署ニ於テ徴集ヲ延期シ又ハ徴
集ヲ猶豫ス可キモノト裁決シタルトキハ各其証書ヲ付與ス

第三十一條 徴募準備事務終ルノ後大隊區徴兵官又ハ警備隊區徴兵官ハ
検査名簿其他終結ヲ受ク可キ書類ヲ取纏メ旅管徴兵官ニ差出ス可シ但
徴集延期及徴集猶豫ニ屬シタル者ハ其人員ヲ旅管徴兵官ニ報告シ其名
簿ハ島司郡市長之ヲ保管ス可シ

(註解)書類ヲ旅管徴兵官ニ差出スニハ目錄ヲ添フヘシ

第五章 徴募

第三十二條 毎年徴募事務執行ノトキハ旅管内府縣毎ニ旅管徴兵署ヲ設

第三十三條 旅團長ハ府縣書記官ニ協議シ徵兵署巡回日割ヲ定メ之ヲ師管徵兵官ニ申報シ又之ヲ大隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ達ス可シ
府縣書記官ハ抽籤ノ日時及徵兵署設置ノ場所ヲ島司又ハ郡市長ニ達シ
島司郡市長ハ豫メ之ヲ管内ニ告示ス可シ

第三十四條 身体検査ニ合格シタル壯丁ハ徵集順序ヲ定ムル爲メノ徵募區毎ニ体格ノ等位及兵種ヲ分チ旅管徵兵署ニ於テ抽籤ヲ行フ
抽籤ハ旅管徵兵委員及大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ノ面前ニ於テ抽籤惣代人ノヲ爲ス者トス抽籤惣代人ハ籤丁ノ選ヲ以テ徵募區毎ニ二名若クハ三名ヲ出スモノトス

(註解)抽籤惣代人ヲ撰出スルハ各府縣従前ノ例ニ依ルヘシ

第三十五條 島司郡市長ハ總代人ノ抽キタル籤番号ノ順序ニ依リ抽籤名簿二本ヲ作り其一本ハ之ヲ旅管徵兵官ニ差出シ他ノ一本ハ之ヲ保管ス

(註解)抽籤名簿ハ舊例ノ籤簿ニ準ス可シ(舊例簿トハ舊事務條例第十四書式ナリ)

施行細則第八様式其一二ノ徵兵表ニ倣ヒタルモノヲ抽籤翌日迄ニ

郡長ニ於テ調製旅管徵兵署へ出スヘシ

(關係)事務條例施行細則第二十一條

第三十六條 抽籤終ルトキハ旅管徵兵官ハ當籤番號ノ順序ニ從ヒ新兵徵募ノ處分ヲ爲シ其他ハ大隊區徵兵官又ハ警備區徵兵官ヨリ差出シタル書類ニ就キ終結ノ處分ヲ爲シ新兵名簿豫備徵員名簿免役名簿國民兵編入名簿ヲ作ル可シ

(關係)事務條例施行細則第二十五條

第三十七條 旅管徵兵署ニ於テ終決ノ處分ヲ爲シタル者ニハ各其證書ヲ附與ス

第三十八條 徵募務事終ルトキハ旅團長ハ旅管徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作り師團長ニ差出シ又新兵名簿ヲ各隊ニ交付シ抽籤名簿及豫備徵員

徵兵事務條例

名簿大隊區司令官ニ交付ス可シ

近衛新兵名簿ヲ近衛都督ニ海軍新兵名簿ハ鎮守府司令長ニ送致ス可シ
免役名簿及國民兵編入名簿ハ府縣廳ニ備置ク可シ

(註解)第三項免役及國民兵編入名簿ハ本人滿四十歲マテ保存ス

(關係)事務條例施行細則第二十七條

第三十九條 師團長ハ師管徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作り陸軍大臣ニ差
出シ陸軍大臣ハ全國徵兵表ヲ作り奏上ス可シ

第六章 裁決

第四十條 裁決ハ分テ假決及終結ノ二種トス

第四十一條 假決ハ徵集延期及徵集猶豫ノ事ヲ裁決シ終結ハ新兵徵募豫
備徵員及國民兵編入並免役ノ事ヲ裁決ス

第四十二條 假決ハ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官之ヲ爲シ終結ハ旅
管徵兵官之ヲ爲ス

第四十三條 壯丁若クハ其家族ニ於テ徵兵令第二十條第二十一條第二十

八條ニ關スル大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキ

ハ旅管徵兵官ニ旅管徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ師管徵兵官ニ師管
徵兵區ノ裁決ニ不服アルトキハ總理徵兵官ニ訴願スルコトヲ得但訴願

ノ爲メニ裁決ノ執行ヲ停止セス

本條ノ訴願ハ裁決書ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ爲ス可シ其期
日ヲ過クルモノハ受理セス

(註解)訴願ノ受理旅管徵兵署閉鎖後ナレハ地方ノ徵兵官ニ於テ意見ヲ
付シ軍衙ノ徵兵官ニ回送ス裁決書ハ可成理由ヲ明記シ兩徵兵官名

捺印スルモノトス

第二項ノ二十日以内云々ハ裁決ヲ承知シタル日ヨリ二十日以内ニ
訴願書ヲ發スレハ受理ス故ニ裁決書ヲ本人ニ下付スルニハ町村長

ヲ經由シ町村長ハ本人ノ受領書ヲ徵収シ置ク可シ

徵兵事務條例

第四十四條 徵兵官ノ裁決ニ對シ訴願スル者ハ其裁決ヲ爲シタル徵兵官ニ其由ヲ届出可シ

第四十五條 第四十三條訴願ヲ爲サントスル者ハ其願書ニ同徵募區内其徵集ニ應スヘキ壯丁ノ戶主三名ノ保證書ヲ添フ可シ

(註解)本條ノ壯丁ハ合格者ニシテ戶主ハ男女何レニテモ可ナリ又保證書ハ各人ヨリスルモ連名ニナスモ適宜トス

第四十六條 徵兵官ノ裁決ニ對シテハ行政裁判所ニ出訴スルヲ許サス
第七章 新兵

第四十七條 新兵入營期日ハ毎年十二月一日トス但疾病犯罪其他ノ事故ニ由リ十二月一日ニ入營シ難キ者ハ同月三十一日迄ニ入營セシム

警備隊諸兵及輕重輸卒ノ入營期日ハ別ニ定ムル所ニ據ル
第四十八條 新兵入營ノトキハ先ツ大隊區司令部若クハ便宜ノ地ニ召集シ其人員ノ多少ニ應シ大隊區副官若クハ書記ヲシテ入營地ニ引率セシム

但新兵五人未滿ナルトキハ引率セシムルヲ要セス
近衛新兵及海軍新兵ハ人員ノ多少ニ拘ハラズ大隊區書記ヲシテ其集合地ニ引率セシメ新兵受領委員ニ交付スルモノトス但大隊區書記出發後到着シタル者ハ直ニ入營地ニ單行セシム

(註解)便宜ノ地ニ召集スルニハ各自單行セシム
(關係事務條例施行細則)第三十四條
第三十五條

第四十九條 新兵入營ニ際シ父母ノ疾病危篤或ハ死亡ノ爲メ入營ノ延期ヲ願フ者アルトキハ大隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ十四日以内ノ延期ヲ許ス可シ

(註解)入營延期ヲ願フニ疾病ナレハ醫師ノ診斷書死亡ナレハ市町村長ノ死亡證明書ヲ添ヘ其願書ハ各自ヨリ直ニ大隊區司令官ニ差出ス可シ

(關係事務條例施行細則)第三十七條

第五十條 新兵入營前ハ轉籍ノ爲メニ所屬ノ隊籍ヲ變更セス但師團ノ諸兵ニシテ師管ヲ異ニスルトキハ此限ニ在ラス

(註解)本條ノ入營旅費ハ轉籍地ヨリ支給ス

第五十一條 新兵入營前死亡シ若クハ疾病犯罪其他ノ事故ニ由リ十二月三十一日迄ニ入營シ難キ者ト認タル者アルトキハ其徵募區ヨリ同兵種ノ豫備徵員ヲ抽籤番号ノ順序ニ從ヒ徵集シ同月同日迄ニ入營セシム若シ其徵募區ヨリ徵集スルト能ハサルトキハ大隊區内他ノ徵募區ヨリ補フ其配賦ハ各徵募區豫備徵員ノ總數ヲ率トシ此例ヲ以テ之ヲ定ム

(註解)本條中其他ノ事故ハ逃亡失踪モ含有ス

(關係)事務條例施行細則第三十八條

第五十二條 新兵入營前癡疾又ハ不具トナリ永久兵役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ旅團長ニ於テ兵役ヲ免ス

第五十三條 新兵入營前徵兵令第二十條ニ當ルヘキ事故ノ生スルトキハ

本人ノ願ニ由リ旅團長ニ於テ徵集ヲ延期ス其願書ニハ市町村長ノ與書証印ヲ受ケ之ニ同徵募區内ノ新兵ノ戶主二名ノ保證書ヲ添ヘ大隊區司令官又ハ警備隊司令官ヲ經テ旅團長ニ差出ス可シ

(註解)延期證書ハ旅團長ニ於テ下付シ名簿ハ曾テ差廻シアル隊ヨリ取戻シ郡市長ニ廻スヘシ但其延期者ハ翌年檢査ヲナス可シ

第五十四條 新兵入營前轉籍セントスル者ハ監視區長ニ届出可シ但監視區ヲ異ニスルトキハ轉籍後七日以内更ニ轉籍地監視區長ニ届出可シ本條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
(註解)轉籍ハ入夫養子其他肩書異動モ含有ス轉籍後ハ甲地ヨリ乙地ニ入籍濟ヲ云フ

(關係)事務條例施行細則第四十一條

○静岡縣問合 二十二年六月五日

徵兵事務條例第五十四條及第五十八條ノ轉籍ニハ他家養子入夫相

徵兵事務條例

續人又ハ分家スル者ハ含有セサル義ナルヤ果シテ然ラハ新兵入營
前又ハ豫備徵員ニシテ監視區外へ養子入夫相續人等ト爲リテ七日
以内ニ届出テサルモ右兩條第二項ノ處分ヲ爲サ、ルモノナルヤ

陸軍省總務局回答 二十二年
六月十一日

右ハ含有スル義ナリ

第五十五條 新兵入營前寄留若クハ七日以上ノ旅行ヲ爲サントスル者ハ
監視區長ニ届出ヘシ

本條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

(註解)寄留ハ全戸單身ヲ問ハス

第八章 豫備徵員

第五十六條 豫備徵員ヲ徵集スルニハ抽籤番號ノ順序ニ從フ其配賦ノ法

ハ豫備徵員ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ム

第五十七條 豫備徵員他ノ徵募區ニ轉籍スルトキハ新舊住地徵募區最高

ノ抽籤番號ヲ率トシ比例ヲ以テ相當番號ノ上位ニ列セシム

(註解)最高番號トハ未番號ヲ云フナリ

第五十八條 豫備徵員轉籍セントスルトキハ監視區長ニ届出可シ但監視

區ヲ異ニスルトキハ轉籍後十四日以内更ニ轉籍地監視區長ニ届出可シ

本條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十九條 豫備徵員ハ徵募年ノ十二月三十一日迄ハ監視區長ノ認可ヲ

受ケスシテ寄留若クハ七日以上ノ旅行ヲ爲スコトヲ得ス其期限後ニ於

テハ往先ヲ詳カニシ監視區長ニ届出可シ其復歸シタルトキモ亦同シ

本條ニ違背シタル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第九章 雜則

第六十條 徵兵令第十條ニ依リ現役ニ服セシコトヲ志願スル者ハ其願書

ニ戸主若クハ家族ノ承認書ヲ添ヘ十二月一日前自己ノ服役セント欲ス

ル軍隊又ハ鎮守府ニ願出テ許可ヲ受ク可シ

徵令事務條例

(註解)志願者單身戸主ノキ親戚或ハ隣保ノ承認書ヲテ可ナリ

第六十一條 前條服役ノ許可ヲ受ケタル者ハ入營前本籍地ノ市町村長ニ
届出ヘシ

(註解)届出ヲ爲スニハ該隊ノ証明書ヲ添フ可シ

第六十二條 徴兵令第二十條ニ當ル者ハ同徴募區内其年ノ徴集ニ應ス可
キ壯丁ノ戸主二名ノ保證書第二十一條第一項ニ當ル者ハ學校長ノ証明
書同條第二項ニ當ル者ハ公使又ハ領事ノ証明書ヲ以テ三月一日迄ニ大
隊區徴兵管又ハ警備隊區徴兵管ニ願出可シ
其願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受ク可キモノトス

(註解)公使又ハ領事ノ証明書到着セサル場合ニ在テハ一時地方長官ノ

証明書ニテ可ナリ

自活シ能ハサル者ノ願書 疾病傷痕等ハニ町村長ノ與書證印ヲ爲ス

ニハ左ノ調書ヲ調製シテ添付スヘシ但戸籍寫ヲ除ク外一紙ニテ廉

分ヲ以テ調製スヘシ

一 戸籍寫 一 職業ノ現狀 一 諸般ノ收入年金

一 財産調 一 國稅地方稅町村稅ノ納額(但種類ヲ區別ス)

一 官ノ救助ヲ受ケタル金額及書類ノ寫

右ノ外自活シ能ハサル証明ノ材料トナルヘキモノ

第六十三條 徴兵令第二十六條ニ依リ他ノ徴募區ニ於テ徴集ニ應セント

欲スル者ハ一月三十日迄ニ本籍地ノ島司又ハ郡市長ニ願出ヘシ

島司又ハ郡長ニ差出ス願書ニハ本籍地町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモ

ノトス

島司郡市長其願ヲ許可シタルトキハ其壯丁名簿ヲ添へ本人寄留地ノ島

司郡市長ニ通知スヘシ

(註解)寄留地應徴願書ハ町村長與書證印ノ上郡長へ差出同時ニ壯丁名

簿モ差出スヘシ

第三項ノ通知ヲ得タル壯丁名簿町村長ヨリ進達前ニ在テハ他ノ
徵募區郡市長ヨリ送付ノ同名簿ハ町村長ニ送付シ進達後ニ在テハ
其旨ヲ通牒スヘシ

○青森縣伺 明治廿二年
四月二日

徵兵事務條例第六十三條ノ出願期限後徵兵令第四十條ニ當ル者ニ
シテ他ノ徵募區ニ於テ徵集ニ應セントスル者ハ實際取扱上差支ナ
キ限リハ右期限ニ拘ラス許可致シ苦シカラズヤ

陸軍省指令 明治廿二年
四月九日

伺之通

第六十四條 疾病傷痕或ハ犯罪等ニテ身体ノ検査ヲ受ケ難キ者及一年志
願兵出願中ノ者ハ書面ヲ以テ検査當日迄ニ島司又ハ郡市長ニ届出可シ
其疾病傷痕ノ者ハ醫師ノ診斷書ヲ添フ可シ

島司又ハ郡市長ニ差出ス届書ニハ町村長ノ與書証印ヲ受ク可キモノトス

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

〔註解〕犯罪等ニハ逃亡失踪ハ含有セス而シテ届出ハ本人ヨリ爲スヘキ

モノナリ

失踪逃亡等ニテ検査ヲ受ケ難キ者アルトキハ町村長ヨリ各當日迄

ニ届出ヘシ

○千葉縣問合 二十二年
六月日欠

徵兵事務條例第六十四條ニ疾病傷痕或ハ犯罪等ト有之ハ徵兵令第
二十一條ノ正當ノ事故トアル種類ヲ示シタル義ニ可有之候得共正
當ノ事故トハ其事項數多ニシテ悉ク指摘スル能ハス故ニ其重ナル
モノヲ示ス等ノ一字ヲ以テ包括シタルモノト解釋被致候然ラハ令
第十一條ニ掲クル官立府縣立其他ノ學校生徒ニシテ徵募區身体檢
査ノ日割恰モ該校大試業ノ日ト撞着スルトキハ本人ヨリ該校長ノ
証明書ヲ添ヘ其事由ヲ届出候ハ試業終ルノ日又ハ試業當日以前

徵兵事務條例

ヲ見計ヒ檢査致候モ差支無之哉若シ正當ノ事故トハ以上掲ケル疾
病傷痍犯罪ノ三者ニ止マルモノトセハ彼等生徒ハ一ケ年ノ苦學ヲ
シテ水泡ニ屬スルノ不幸ニ陥リ事情難忍議ニ有之云々

陸軍省總務局回答 廿二年 六月日欠

右ハ徵兵檢査ニ應セントスルモ應シ得サル程ノ止ムチ得サル事故
ヲ指シタル義ニテ自己ノ便宜上ニ出ルモノヲ指シタル義ニ無之候
ニ付學校大試業ノ如キハ犯罪等ノ文字ニ含有セサル義ト御承知有
之度尤モ師團司令部ニ協議ノ上ハ他ノ檢査所ニ廻ス等便宜ノ方法
モ之アルヘシ

第六十五條 疾病傷痍或ハ犯罪等ニテ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ書面ヲ
以テ入營當日迄ニ監視區長ヲ經テ大隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届
出可シ其疾病傷痍ノ者ハ醫師ノ診斷書ヲ添フ可シ
其届書ニハ市町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス本條ノ届出ヲ爲サ

ル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第六十六條 徵兵署及檢査所ノ諸費壯丁及抽籤總代人ノ旅費新兵入營ノ
旅費府縣郡市島嶼徵兵參事員ノ手當金旅費地方徵兵醫員ノ旅費ハ官給

ス

○青森縣伺 二十二年 五月二日

徵兵費ノ件

第一條 改正徵兵事務條例第六十六條ニ依リ左記ノ諸費ハ悉皆府縣

徵兵費ヲ以テ支弁シ然ルヘキヤ

(一)縣徵兵參事員並ニ郡市徵兵參事員手當及旅費

(二)旅管徵兵署大隊區徵兵署及檢査所ノ地方徵兵醫員給料旅費

(三)同上各所ノ諸器械新調修繕費及借上料等一切ノ費用

(四)同上各所借上料及消耗品薪炭油茶類雜用品トモ等ノ費用

(五)同上各所ニ於テ調製スヘキ諸名簿ノ用紙及版木印章ヲ始トシテ

徵兵事務條例

通信運搬費印刷費等一切ノ費用

(六)同上各所ニ於テ事務ノ都合ニ因リ夜勤セシトキ事務員(陸軍部内ノ吏員ヲ除ク)並ニ參事員ニ給スル賄料及小使賄料等但シ派出先滞在日當ヲ支給スルモノヲ除ク

(七)同上各所ニ於テ雇入ル、小使給料及人夫賃等一切ノ費用

第四條 徵兵費ノ内文具料ノ科目之アリ右ハ徵兵署及検査所事務員(陸軍部内ノ吏員ヲ除ク)ニハ本縣適宜定ムル所ノ其給與概則ニ依リ本費ヨリ支給シ然ルベキヤ

第五條 前條果シテ然ラハ事務員使用ノモノヲ除クノ外ハ現品ヲ徵兵署及検査所へ本費ヲ以テ配置スルハ勿論ニ之アルヘキヤ

第六條 徵兵費ノ内々國旅行ノ節附添入旅費ナルモノ之アリ右ハ改正徵兵事務例條第四十八條ニ依リ大隊區司令部若クハ便宜召集ノ地マテ市郡吏員ノ附添ヲ爲ス者ニ支給スル義ナルヤ又ハ右旅費ハ

相當市吏へ同費郡吏ハ地方税支辨ニ属シ大隊區副官及書記ノ附添旅費ヲ支辨スル義ナルヤ但市町村吏前段ノ場合ニハ其市町村ニテ定ムル所ノ金額ヲ其方法ニ依リ支給スヘキヤ

第七條 改正徵兵事務條例中筆生ナル者之ナシ然ルニ到底之ヲ雇入レサルトキハ事務上差支ヲ生スルハ顯然ノ義ニシテ且ツ徵兵費ノ科目ニモ之アルヲ以テ便宜雇入ル、ハ各徵兵署及検査所ノ都合ニ依ル義ナルヤ

第八條 改正徵兵事務條例第三十四條第三項ノ抽籤總代人ハ籤丁外ノ者ヲ選舉スルモ妨ナキ義ト考フ果シテ然ラハ郡吏員ヲ抽籤總代人ニ選舉セシトキハ従前ノ通官相當ノ旅費額又市町村吏員同上ノ場合ハ市町村ニ於テ適宜定ムル所ノ方法ニ依リ其旅費額ヲ官給スル義ナルヤ(第二條第三條略ス)

內務省指令 二十二年五月廿日

徵兵事務事例

第一條六項ハ陸軍吏員ノ分トモ但書ノ者ヲ除ク總テ徵兵費ヨリ支辨スヘシ其他各項伺之通

第四條本務ノ方ニ於テ文具料ヲ受クル者ニハ支給スルヲ得ス

第五條文具料ヲ受ケサル者ニハ伺之通

第六條附添人旅費ハ訓令第十九號ノ通但シ召集地マテ郡吏員ノ附添ヲ要セス

第七條筆生ハ徵兵費ヲ以テ雇入ルヘキ限リニアラス但科目ハ訓令

第十九號ノ通リ

第八條抽籤總代人旅費ハ明治二十年大藏省令第十七號徵兵旅費定則ニ依リ支給スヘシ

第六十七條 現役中疾病或ハ傷痕ニ依リ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ近衛都

督師團長又ハ鎮守府司令長官ニ於テ兵役ヲ免ス

其一時服役ニ堪ヘ難キ者ハ豫備役ニ編入シ現役年期ヲ通シテ七箇年間服

役セシム

第六十八條 現役中徵兵令第二十條ニ當ル可キ事故ノ生スルトキハ其家

族ノ願ニ由リ近衛都督師團長又ハ鎮守府司令長官ニ於テ現役ヲ免シ豫

備役ニ編入ス但現役年限ヲ通シテ七箇年間服役セシム

其願書ニハ市町村長ノ與書証印ヲ受ケ之ニ同徵募區内現役兵ノ戸主二

名ノ保證書ヲ添ヘ大隊區司令官又ハ警備隊司令官及旅團長ヲ經テ近衛

都督師團長又ハ鎮守府司令長官ニ差出ス可シ

(註解)本條ノ願書ハ監視區長ヲ經ルニ及ハス

第十章 附則

第六十九條 北海道廳管下函館江差福山其他島嶼ニ於テ本條例中ノ條規

ヲ實施スルコト能ハサルトキハ師團長地方長官協議ノ上適宜ノ方法ヲ

設クルコトヲ得

第七十條 徵兵令ヲ施行セサル地ニ寄留ノ者ハ同令第二十六條後段ノ例

徵兵事務條例

ニ準シ寄留地最寄ノ徵募區ニ於テ徵集ニ應スルコトヲ得

第七十一條 徵兵令ヲ施行セサル地ヨリ施行ノ地ニ轉籍シタル者ハ其年

又ハ翌年ノ徵集ニ應セシム但年齡二十六歳ヲ過クル者ハ此限ニ在ラス

第七十二條 本條例中市長ノ職務ハ市制ヲ實施スル迄ハ區長ニ於テ町村

長ノ職務ハ町村制ヲ實施スル迄ハ戶長ニ於テ行フ可シ

第七十三條 第三條ノ徵募區ハ市制ヲ實施スル迄ハ區ノ境域ニ依ル

第七十四條 明治二十二年ニ限り第二十三條ノ壯丁名簿差出期限及第六

十二條ノ願出期限ハ四月十五日迄トシ第六十三條ノ願出期限ハ三月一

日ヨリ同月十五日迄トス

○陸軍省令第一號 明治廿二年 二月廿八日

徵兵事務條例施行細則

第一條 條例第二十三條ノ壯丁名簿ハ附錄第一様式ニ依リ之ヲ作り一市

一町村ヲ一冊ト爲シ冊尾ニ其人員ノ總計ヲ記シ市町村長之ニ署名押印

ス可シ

(註解)壯丁名簿住所ノ區畫中本籍ハ右側寄留地ハ左側ニ記入シ其下ニ

寄留ト書スヘシ若シ單身寄留ナレハ單身ノ二字ヲ加フヘシ

全体ニ區畫ヲ廣ムルハ適宜トス

寄留地ノ住所ハ寄留地ノ市町村長ニ於テ記入スベシ氏名區畫中附

籍者ハ何ノ誰附籍ト記ス可シ自覺症ヲ訴フル者ハ壯丁名簿左側下

端ニ其旨附箋スヘシ

適齡ヲ除ク外總テ事故ヲ記シ壯丁名簿左側下端ニ附箋スヘシ

現役志願者アルキハ前項ノ例ニ依リ付箋シ令第二十條ニ當ル者ハ

徵兵事務條例施行細則

人名簿及壯丁名簿ニ赤紙ヲ付スヘシ

壯丁名簿中仮終決區畫中ニ記入スヘキ件ハ印形ヲ調刻シ之ヲ用ユ

ヘシ

第二條 徵兵令第七條及第二十五條但シ書ニ當ル者ハ市町村長之ヲ調査

シ人名書ヲ作り壯丁名簿ニ添付ス可シ

(註解)人名書ニハ其事故ヲ頭書或ハ肩書スヘシ

第三條 條例第二十五條ノ徵兵署及検査所巡回日割ヲ定ムル爲メ島司郡

市長ハ壯丁名簿及前年假決ノ諸名簿ヲ調査シ其人員ヲ大隊區司令官又

ハ警備隊司令官ニ報告スヘシ

(註解)人員ハ毎年三月五日迄ニ大隊區司令官ニ到達スル如ク發送スヘシ

第四條 大隊區徵兵署警備隊區徵兵署及徵兵検査所ハ島司郡市長ニ於テ

適當ノ家屋ヲ選定シ大隊區司令官又ハ警備隊司令官到着ノ上之ヲ開設

ス可シ

徵兵検査所ハ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官豫メ旅管徵兵官ヲ經テ
師管徵兵官ノ許可ヲ受ケ一箇所概テ壯丁百人以上一日間ニ往復ヲ爲シ
得ル里程内ノ地ニ設ク可シ

(註解)第二項ノ認可ヲ受クル手續キハ大隊區司令官ヨリ旅團長ニ旅團

長ハ府縣書記官ニ書記官ハ知事ニ知事ハ意見ヲ付シ師團長ニ移シ

師團長認可ノ處分ヲナシ旅團長ヲ經テ大隊區司令官ニ下付ス又同

項一日間ニ往復シ得ル云々ハ費用節儉ノ主旨ニシテ或ハ場合ニ於

テハ壯丁ヲ宿泊セシムルコトアリ其費用ハ定則ニヨルヘシ

第五條 大隊區徵兵署警備隊區徵兵署及徵兵検査所巡回日割己ニ定マルト

キハ島司郡市長ハ其徵募區内ニ於テ毎日検査ヲ受ク可キ壯丁ノ順序ヲ

定メ之ヲ壯丁ニ達シ當日ニ至レハ市町村吏員ヲシテ壯丁ヲ引纏メ徵兵

署又ハ徵兵検査所ニ出頭セシムヘシ

(註解)市町村吏員ハ壯丁引纏メ徵兵署又ハ検査所ニ出頭ノキハ其人名

徵兵事務條例施行細則

書ヲ差出スベシ事故アリ出頭セサルモノアルキハ其事由ヲ頭書ス
ヘシ

第六條 壯丁ノ身体検査ヲ行フトキハ島廳附府縣屬郡市書記ハ壯丁ヲ呼
出シ軍醫ハ徵兵検査規則ニ依リ身体ヲ検査シ体格ノ等位其他所用ノ件
ヲ壯丁名簿及前年假決ノ諸名簿ニ記入シ大隊區司令官又ハ警備隊司令
官ニ差出スヘシ

体格ノ等位ハ甲乙丙丁ノ四種ニ分チ其甲乙兩種ヲ合格トシ丙種ヲ徵集
延期トシ丁種ヲ不合格トス

第七條 身体検査ヲ行フニ當リ壯丁ヲシテ裸体ナラシムルトキハ勉メテ
別室若クハ隔障内ニ於テス可シ

第八條 身体検査ノ際現役ニ服センコトヲ志願スル者アルトキハ大隊區
徵兵官ハ本人ノ身元ヲ調査シ其景況書ヲ添へ旅管徵兵官ニ具申ス可シ
其志願者ハ体格甲程ニシテ身元確實ト認ム者ハ旅管徵兵官ニ於テ之

ヲ許可スルコトヲ得

(註解)志願者ノ願書式ハ適宜トス但志願者ハ兵種ヲ撰フコトヲ得且検査

后抽籤前ニ於テハ徵兵官ノ差支ナキ限リ其取扱ヲ爲ス可シ

第九條 身体検査終ルノ後大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ合格者ヲ
シテ抽籤總代人ヲ選バシメ其人名ヲ旅管徵兵官ニ報告スヘシ

(註解)抽籤總代人ハ籤丁ノ選ニヨリ籤丁外ノモノニテモ差支ナシ

第十條 徵兵令第十八條第十九條及第二十條ニ依リ徵集延期ニ屬シ第二
十一條ニ依リ徵集猶豫ニ屬スル者ハ大隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署
ニ於テ附錄第二様式ニ依リ徵集延期証書徵集猶豫證書ヲ作り市ハ市長
ヨリ本人ニ附與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長ヲシテ本人ニ附與セシム
ヘシ

徵兵令第二十條第二十一條ノ願ヲ許可セサル者ニハ願書ニ裁決ノ旨趣
ヲ記載シ前項ノ例ニ依リ本人ニ附與スヘシ

(註解附錄第二様式ノ用紙ハ西ノ内上等ヲ用ユヘシ費用ハ徵兵費トス

第二項ノ裁決書ニハ徵兵官署名捺印スルモノトス

第十一條 陸軍諸兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ選フヘシ

一 歩兵ハ身体強健ニシテ能ク勞力及遠足ニ堪ユル者

二 騎兵ハ成ル可ク馬匹ノ使用ニ慣レ体格ハ輕捷ニシテ筋肉肥滿ニ過

キサル者

三 砲兵ハ体力強大ニシテ視力清明ナル者

四 工兵ハ諸職工中殊ニ工兵ノ作業ニ適當シ臂力アル者

五 輜重兵及輜重輸卒ハ成ル可ク馬匹ノ使用ニ慣レ且臂力アル者

六 職工ハ現ニ其職ニ從事シ又ハ嘗テ其職ニ從事セシ者

近衛諸兵ハ甲種合格ニシテ品行方正ノ者ヲ選フ可シ

第十二條 海軍兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ノ順序ニ從ヒ之ヲ選フ可シ

一 海員免狀ヲ受有シ海員ノ業ニ從事スル者

二 瀛車或ハ諸製造所等ニ於テ機關手又ハ火夫ノ業ニ從事スル者

三 現ニ前項ノ職業ニ從事セスト雖モ一箇年以上嘗テ之ニ從事セシ者

四 舟夫

五 漁夫

職工及雜卒ハ各其勤務ニ適當ノ者ヲ選フヘシ

第十三條 條例第二十九條ノ徵兵検査名簿徵集延期名簿及徵集猶豫名簿

ハ壯丁名簿及前年假決ノ諸名簿ヲ以テ編綴ス可シ但徵兵検査名簿ハ種

類ヲ分チ之ヲ編綴シ冊尾ニ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官署名押印

シ旅管徵兵官ニ差出ス可シ

公權停止中若クハ逃亡失踪等ノ爲メ其年徵集スルコト能ハサル壯丁ハ

徵集延期名簿ニ一年志願兵出願中及認可ヲ受ケタル者ハ徵集猶豫名簿

ニ編入シ各假決ノ區畫ニ其事由ヲ記スルモノトス

(註解)逃亡失踪ノ爲メ延期中ノ者ニシテ他ニ轉籍スルキハ町村長ヨリ

徵兵事務條例施行細則

郡市長へ報告ス可シ

第十四條 大隊區ニ於テ師團歩兵聯隊ノ配賦人員ヲ充スコト能ハサルトキハ大隊區司令官ヨリ之ヲ旅團長ニ具狀シ旅團長ハ他ノ大隊區同兵種ノ人員ヲ調査シ殘餘アルトキハ先ツ之ヲ以テ其缺ヲ補ヒ仍ホ不足スルトキ他ノ最寄二箇ノ大隊區ニ配賦ス可シ其配賦ノ法ハ條例第二十二條ノ例ニ依ル

第十五條 徵兵令第二十條ニ當リ其事故第三年ニ至ルモ仍ホ止マサル者及同令第二十八條ニ當ル者アルトキハ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ郡市徵兵參事員又ハ嶋嶼徵兵參事員ヲシテ其當否ヲ審議セシメ之ニ意見書ヲ付シ旅管徵兵官ニ差出ス可シ

○手縣伺 明治廿二年 四月六日

徵兵事務條例施行細則第十五條中徵兵令第二十條ニ當リ其事故第三年ニ至ルモ仍ホ止マサル者云々ト之アリ故ニ二十二年徵兵適齡

ノ者ハ二十四年ニ至リ事故仍ホ止マサルトキハ右ノ取扱ヲ爲スモノ、如クナレモ令第二十條ニハ三年ヲ過クルモノトアルヲ以テ二十二年適齡者ハ二十五年徵募事務ノ節ニ至リ右ノ如ク取扱フヘキ義ナルヤ

陸軍省指令 明治廿二年 四月十五日

伺之通

第十六條 徵兵令第二十一條ニ當ル者ハ徵集猶豫ノ期限間身体ノ検査ヲ行ハス

第十七條 疾病傷痕又ハ犯罪等ノ爲メ身体検査ニ出頭セサル者アルトキハ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ其狀況ニ由リ他ノ徵募區ノ大隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署若クハ徵兵検査所若クハ旅管徵兵署ニ出頭セシメ若クハ翌年ノ検査ニ回ス可シ但疾病傷痕ノ者ハ時宜ニ由リ其家ニ就キ検査ス可シ

徵兵事務條例施行細則

(註解)其家ニ就キ検査スルニハ検査醫官參事員各一名ニテ概テ可ナリ
然レモ他ノ検査所ニ移ルキ等ニテ途次徴兵官ニ於テ臨檢シ得ルハ
此限ニアラス

他ノ徴募區ニテ検査ヲ受クヘキモノ令第二十條ニ依リ願書差出シ
タルキハ管轄郡市長ニ於テ調査シ意見ヲ付シ大隊區司令官ニ移ス
可シ

第十八條 旅管徴兵署府縣書記官ニ於テ適當ノ家屋ヲ選定シ旅團長到着
ノ上之ヲ開設スヘシ

第十九條 抽籤施行ニ先タチ旅管徴兵署ニ於テ合格者ノ人員ヲ調査シ徴
募區毎ニ兵種及甲乙兩種ニ分チ籤札ヲ作ル可シ

籤ノ番號ハ合格者ノ數ニ應シ第一番ヨリ起スヲ例トス然レトモ抽籤ノ
列ニ加ヘサル者アルトキハ現役ニ編入スルノ順序ヲ定ムル爲メ之ニ首
位ノ番號ヲ附着シ其次番號ヨリ籤番號ヲ起ス可シ

第二十條 籤札ハ附録第三様式ニ依リ之ヲ作り籤箱ニ納レ之ヲ封鎖シ旅
管徴兵委員大隊區徴兵官又ハ警備隊區徴兵官列席ノ前ニ置キ其封ヲ披
キ島廳附府縣屬郡市書記籤丁名簿ノ順序ニ氏名ヲ呼ヒ抽籤總代人ニ之
ヲ抽カシム

(註解)籤丁名簿ハ從前ノ通

○滋賀縣問合 明治廿二年
三月廿八日

徴兵事務條例施行細則第二十條ニ示サレタル籤丁名簿ハ籤札ト同
時調製ヲ要スルモノナレハ專ラ郡市書記ヲシテ從事セシメ其費用
ハ郡市役所ヨリ支弁セシムル義ナルヤ

陸軍省總務局副官回答 二十二年
五月十日

郡市書記ヲシテ從事セシムル義ハ意見ノ通籤丁名簿及籤札ノ費用
ハ徴兵費ヨリ支弁スヘキ義ナリ

第二十一條 條例第三十五條ノ抽籤名簿ハ一貫ノ番號ヲ記シ置キ總代人
徴兵事務條例施行細則

ノ抽ク毎ニ其住所氏名ヲ相當番號ノ下ニ記入ス可シ

第二十二條 抽籤總代人ハ抽ク所ノ番號ヲ高聲ニ呼ヒ其抽札ヲ島應付府縣屬又ハ郡市書記ニ渡シ島應附府縣屬郡市書記ハ之ヲ壯丁名簿氏名ノ頭ニ貼付シ割印ヲ押シ一人毎ニ之ヲ截チ切り總代人ニ交付ス可シ

第二十三條 檢査合格者ハ左ニ掲クル順序ニ從ヒ現役兵ニ編入シ其要員ニ超過スル者ハ豫備徵員ニ編入ス

一 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者ニ當ル者二人以上ナルトキハ者ハ誕生月日ノ順序ニ從フ第二項第三項第五項第六項亦同シ

二 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十一條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者

三 甲種合格者ニシテ現役志願ノ者

四 甲種合格者ニシテ抽籤ノ者ヲ番號ノ順序ニ從フ第七項亦同シ

五 乙種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者

六 乙種合格者ニシテ徵兵令第二十一條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者

七 乙種合格者ニシテ抽籤ノ者

第二十四條 抽籤終ルトキハ旅管徵兵署ニ於テ附錄第四第五第六第七樣式ニ依リ新兵證書豫備徵員證書國民兵證書及免役證書ヲ作り市ハ市長ヨリ本人ニ附與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長ヲシテ本人ニ付與セシムヘシ

徵兵令第二十條ニ依リ國民兵編入ノ願ヲ許可セサル者ニハ願書ニ裁決ノ旨趣ヲ記載シ又同令第二十八條ニ依リ徵集スル者ニハ別ニ其裁決書ヲ作リ前項ノ例ニ依リ本人ニ附與スヘシ

第二十五條 條例第三十六條ノ新兵名簿豫備徵員名簿免役名簿及國民兵編入名簿ハ徵兵檢査名簿ヲ以テ編綴シ種類ヲ分チ冊尾ニ旅管徵兵官署名押印スヘシ

第二十六條 旅管徵兵署ニ於テ抽籤名簿ニ基キ新兵監視名簿及豫備徵員監視名簿ヲ作り各監視區長ニ交付ス可シ

(註解)監視名簿ハ抽籤名簿ニ同シ

第二十七條 條例第三十八條ノ徵兵表ハ附錄第八様式ニ依リ之ヲ作ル可シ

第二十八條 壯丁名簿進達後検査前名簿ニ關スル異動ヲ生シタル者若クハ他ノ徵募區ヨリ入籍シタル者アルトキハ町村長之ヲ島司又ハ郡長ニ報告スヘシ但検査後抽籤前ニ係ルモノハ島司又ハ郡長ヲ經テ旅管徵兵官ニ報告スヘシ

市ニ在テ検査名簿進達後抽籤前前項ニ當ル者ハ市長之ヲ旅管徵兵官ニ報告スヘシ
新兵入營前及豫備徵員ノ名簿ニ關スル異動轉入籍ヲ除クハ市町村長ヨリ監視區長ニ通知スヘシ

(註解)各自ヨリ届出ヲ要セス戸籍上異動轉籍モ含有スアルキハ町村長ヨリ直

ニ報告スヘシ又町村長ニ於テ名簿進達前異動アルキハ轉籍地ノ町村長ニ送付スヘシ

第二十九條 検査後抽籤前徵募區外ニ轉籍スル者アルトキハ島司郡市長ヨリ検査名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知ス可シ
其異動轉籍地ノ抽籤後ニ係ルトキハ次年ニ於テ徵集ス

(註解)名簿ヲ旅管徵兵署へ送達後ニ係ルキハ同縣下ニ在テハ該署ニ於テハ甲ヲ除キ乙ニ挿入シ他府縣ニ係ル名簿ハ郡長ニ返付ス
第二項次年ニ於テ徵集スルモノハ検査ヲ爲サス

第三十條 徵兵令第十八條第十九條第二十條及第二十一條ニ當リ徵集延期若クハ徵集猶豫中名簿ニ關スル異動ヲ生スル者アルトキハ島司郡市長ニ於テ其名簿ニ訂正ヲ加フ可シ但郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長其異動ヲ島司又ハ郡長ニ報告ス可シ

他ノ徵募區ニ轉籍スル者ハ島司郡市長ヨリ徵集延期名簿若クハ徵集猶豫名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知ス可シ

第三十一條 徵兵令第二十六條ニ依リ他ノ徵募區ニ於テ徵集ニ應ヌ可キ者ニシテ同令第十八條第十九條第二十條及第二十一條ニ當リ徵集延期若クハ徵集猶豫トナリ延期若クハ猶豫中本籍ニ復舊シ又ハ他ノ徵募區ニ寄留替ヲ爲シ更ニ其地ニ於テ徵集ニ應シ度キ旨一月三十一日迄ニ願出ルトキハ島司郡市長之ヲ許可スルコトヲ得

島司郡市長其願ヲ許可シタルトキハ徵集延期名簿若クハ徵集猶豫名簿ヲ添ヘ新住地ノ島司又ハ郡市長ニ通知ス可シ但寄留替ノ者ハ本籍ノ島司郡市長ニモ通知ス可シ

第三十二條 徵兵令第二十五條ノ届出期限後條例第七十一條ニ當ル者アルトキハ町村長ハ戶籍ニ基キ壯丁名簿ヲ作り嶋司又ハ郡長ニ差出ス可シ

市ニ在ルハ市長壯丁名簿ヲ作り大隊區徵兵署又ハ旅管徵兵署ニ提出ス可シ
第三十三條 新兵入營ノ期ニ先チ大隊區司令官ニ於テ入營地若クハ近衛海軍新兵集合地ニ到ル日數ヲ量リ召集ノ場所及日時ヲ定メ島司又ハ郡市長及町村長ヲ經テ之ヲ各自ニ達ヌ可シ

(註解)新兵入營ノ際ハ自服ヲ包ム厚紙(風呂)及ヒ姓名札(華或ハ木札)等ヲ所持シシムルヲ要ス

第三十四條 條例第四十八條第二項ノ近衛海軍新兵受領委員ハ左ノ如シ
新兵五人以上五十人迄 下士若クハ上等兵(海軍ハ一等卒以下之ニ做フ)一名兵卒一名乃至三名

新兵五十一人以上百五十人迄 中少尉(海軍ニ在テハ大尉一名以下之ニ做フ)一名下士若クハ上等兵一名乃至二名兵卒四名乃至六名
新兵百五十一人以上三百人迄 中少尉一名下士若クハ上等兵二名乃至三名兵卒八名乃至十名

新兵三百一人以上 大尉一名中尉一名下士若クハ上等兵三名乃至五名兵卒十名乃至十五名

第三十五條 條例第四十八條第二項ノ近衛海軍新兵集合地ハ左ノ如シ

徵兵事務條例施行細則

第一師管ハ東京、横須賀

第二師管ハ仙臺、白河

第三師管ハ四日市、沼津

第四師管ハ神戸

第五師管ハ廣嶋、吳、九龍

第六師管ハ長崎、佐世保、大分

第三十六條 近衛海軍新兵入營ノ期ニ先タテ近衛及鎮守府ニ於テ新兵ノ集合地ヨリ入營地ニ至ル日數ヲ量リ集合地到着ノ日割ヲ定メ豫メ之ヲ各師團司令部ニ通牒ス可シ

第三十七條 條例第四十九條ノ入營延期願濟ノ者其他事故不參ノ者アルトキハ新兵引率ノ大隊區副官若クハ書記ヨリ各隊長又ハ近衛海軍新兵受領委員ニ其由ヲ通知ス可シ

第三十八條 條例第五十一條ニ依リ豫備徵員ヲ以テ新兵ノ欲員ヲ補フニハ大隊區司令官ニ於テ其取扱ヲ爲ス可シ

第三十九條 徵兵令第二十七條ニ依リ翌年回ト爲リタルモノハ其年ノ新兵同時ニ入營セシム可シ但本條ノ人員ハ其年ノ新兵所要人員ニ加ヘサルモノトス

第四十條 新兵入營前癩疾又ハ不具トナリ永久兵役ニ堪ヘ難キ者ト認めタル者アルトキハ其診斷書ヲ添ヘ大隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ旅團長ニ具中ス可シ

第四十一條 條例第五十四條及本則第二十八條第三項ニ當ル新兵ノ異動ハ大隊區司令官ヨリ旅團長ニ報告ス可シ但新兵名簿送致後ニ在テハ旅團長ヨリ各隊長又ハ近衛都督若クハ鎮守府司令長官ニ通牒ス可シ

第四十二條 新兵入營前他ノ師管ニ轉籍シ隊籍ヲ變更スヘキ者アルトキハ本人名簿ヲ添ヘ旅團長ヨリ之ヲ轉籍地ノ旅團長ニ通牒ス可シ

第四十三條 新兵豫備徵員ニシテ轉籍シタル者ノ新兵證書豫備徵員證書

徵兵事務條例施行細則

△總テ轉籍地ノ大隊區司令官ニ於テ訂正ス可シ
 第四十四條 新兵證書豫備徵員證書國民兵證書及免役證書ヲ失ヒ又ハ損傷シタル者ハ新ニ渡方ヲ島司又ハ郡市長ニ請求ス可シ
 (註解)請求願書ニハ何旅管何府縣ト終結處分ヲ受タル所管(改姓名及移籍等アルモ總テ終決ヲ受ケタル)ヲ記セシムルヲ要ス其請求ヲ受ケタル郡長ハ之ヲ大隊區司令官ニ移スヘシ

附錄第一樣式 (壯丁名簿)

用紙美濃紙半葉

(△印及署印ハ孰モ朱)

明治何壯丁名簿										
格		體			備考	終決	假		兵種	住所
要	摘	各部	胸廓	位等	△年月日何罪ニ依リ何刑何年ニ處ヒラル○戸主或ハ本人家屋ヲ有ス○戸主或ハ本人地租何圓ヲ納ム	△近衛現役(豫備徵員)	△明治何年令第十八條ニ當リ徵集 △延期○ △……○……		何兵何番	府(縣)郡(市)町(村)
力辨視運關尺身		色力動節節度幹	子				妻	誕生	氏名	職分
									△華(士)族(平民)何職	
									△某長(次)男(兄)(弟)(戸主)	
							△年月日結婚			
							△何府(縣)自分何某長(次)女某			
							△長男			
							△長女			

一職業ハ現ニ從事スル所ノ職業ヲ記シ兼業ノ者ハ之ヲ併記ス假令ハ(農兼木工)(商兼鍛工)等ノ如シ

但醫師僧侶ハ職業ノ部ニ官吏教員ハ備考區畫中ニ記シ職業ナキモノハ無職業ト記スヘシ

二寄留地ニ於テ徵集ニ應スルモノハ住所ノ區畫本籍地ト寄留地ヲ併記ス可シ

三備考區畫中刑ハ禁錮以上ノ者ヲ記ス可シ

四兵種番號假決終決體格ノ區畫ニハ大隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署又ハ旅管徵兵署ニ於テ其事項ヲ記入スルモノトス

附錄第二樣式 (徵集延期「猶豫」證書) 用紙厚紙

表 三十三号

△府(縣)郡(市)町(村)	△氏	名
右徵兵令第何條ニ依リ徵集ヲ延期(猶豫)ス		
年月日	△何	大隊區徵兵署
		印

凡曲尺五寸

裏

本證書ハ之ヲ附與シタル日ヨリ翌年徵兵檢査迄其効ヲ有スルモノトス

本證書用紙ハ島廳郡市役所ニ於テ調製スヘシ

附錄第三樣式 (籤札)

用紙厚紙

近衛(海軍)

甲(乙)種何兵第何番

鑑札用紙ハ島廳郡市役所ニ於テ調製スヘシ

徵兵事務條例施行細則

凡曲尺六寸

右現役兵ニ徵募シ何兵第何聯大隊ニ編入ス

△何兵第何番

第何旅管何大隊區
△府(縣)郡(市)町(村)住
△氏 名

年月日

第何旅管徵兵署

印

凡曲尺六寸

裏

新兵入營前ノ心得

一 新兵入營期日ハ十二月一日トス

一 警備隊諸兵ノ入營期限ハ第一次ハ十二月一日第二次ハ六月一日トス

一 輜重輸卒ノ入營期限ハ第一次ハ十二月一日第二次ハ四月一日第三次ハ八月一日トス

一 入營前轉籍スル者ハ豫メ其由ヲ監視區長ニ届出テ監視區長ニ異ニスルトキハ轉籍後七日以内吏ニ轉籍地ノ監視區長ニ届出可シ其届出ヲ爲サ、ルトキハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處セラル、モノトス

一 疾病傷痰或 犯罪等ニテ入營シ難キ者ハ書面ヲ以テ入營當日迄ニ監視區長ヲ經テ大隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届出可シ其届書ニハ市町村長ノ與書證印ヲ受ク可キモノトス其届ヲ爲サ、ルトキハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處セラル、モノトス

一 入營前寄留者ハ七日以上ノ旅行ヲ爲サントスル者ハ監視區長ニ届出可シ其届出ヲ爲サ、ル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處セラル、モノトス

一 故ナク入營ノ期ニ後レ平時ニ在テ十日ヲ過クル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ戰時ニ在テ五日ヲ過クル者ハ一年以上ノ輕禁錮ニ處セラル、モノトス

一 此證書ハ入營迄 事故ニ由リ其年入營セ 其効ヲ有スルモノトス 此證書ヲ失 若クハ損傷シタルトキハ新ニ下渡ヲ島司又ハ郡市長ニ請求ス可シ

一 近衛海軍ニ在テハ表面ノ右以下ヲ「右近衛現役兵ニ徵募ス」右海軍現役兵ニ徵募スト記テ可シ

二 本證書用紙ハ旅團司令部ニ於テ調製ス可シ

第五樣式 (豫備徵員證書)

用紙厚紙

凡曲尺四寸 表

凡曲尺六寸

右豫備徵員ニ徵募ス		第何旅管何大區
△何兵第何番		△府(縣)郡(市)町(村)住
△氏		名
年月日	第何旅管徵兵署	印

裏

豫備徵員ノ心得

一 豫備徵員ハ戰時若クハ事變ニ際シ兵員ヲ要スルトキ又ハ其年ノ新兵員ナ生シ
 ラルトキ抽籤番号ノ順序ニ從テ徵集セラル、モノトス但新兵缺員ノ爲メ徵集セ
 一 豫備徵員轉籍セントスルトキハ監視區長ニ届出監視區ヲ異ニスルトキハ轉籍後
 十四日以内ニ轉籍地監視區長ニ届出監視區ヲ爲サ、ルトキハ五錢以上一
 圓九角五分以下ノ科料ニ處セラル、モノトス
 一 豫備徵員ハ徵募年ノ十二月三十一日迄ハ監視區長ノ認可ヲ受ケスシテ寄留若ク
 ハ七以上ノ旅行ヲ爲スコトヲ得ス其以後ニ往テ先チ詳ニ監視區長ニ届
 出可シ其復歸シタルトキ亦同シ以上ノ成規ニ違背シタル者ハ五錢以上一圓九十
 五錢以下ノ科料ニ處セラル、モノトス
 一 故ク入營ノ期ニ後レ平時ニ在テ十日ヲ過クル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁
 錮ニ戰時ニ在テ五日ヲ過クル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處セラル、モノ
 トス
 一 新兵ノ補缺トシテ徵集ヲ命セラレサル者ハ徵募ノ十二月一日ヨリ起算シ滿一ケ
 年ノ後ハ別ニ命ナクシテ國民兵ニ編入セラレタルモノトス
 一 此證書國民兵役ヲ終ハマテ其効ヲ有スルモノトス
 一 此證書ヲ失ヒ若クハ損傷シタルキハ新タニ下渡ヲ島司又ハ郡市長ニ請求スヘシ

- 一 近衛海軍ニ在テハ表面右以下ヲ右近衛豫備徵員ニ徵募ス」右海軍豫備徵員ニ徵募
 ス」ト記ス可シ
- 二 本證書用紙ハ旅團司令部ニ於テ調製スヘシ

徵兵事務條例施行細則

第六様式 (國民兵證書)

用紙厚紙

裏

凡曲尺六寸

右徵兵令第何條ニ依リ國民兵ニ編入ス

第何[△]旅管何[△]大隊區
[△]府(縣)[△]郡(市)町(村)住
[△]氏 名

年月日 第何[△]旅管徵兵署

印

裏

本證書用紙ハ旅團司令部ニ於テ調製ス可シ

此證書ヲ失ヒ若クハ損傷シタルトキハ新ニ下渡ヲ島司又ハ郡市長ニ請求ス可シ

第七様式

(免役證書)

用紙厚紙

裏

凡曲尺六寸

右徵兵令第十七條ニ依リ兵役ヲ免ス

第何[△]旅管何[△]大隊區
[△]府(縣)[△]郡(市)町(村)住
[△]氏 名

年月日 第何[△]旅管徵兵署

裏

本證書用紙ハ旅團司令部ニ於テ調製ス可シ

此證書ヲ失ヒ若クハ損傷シタルトキハ新ニ下渡ヲ島司又ハ郡市長ニ請求ス可シ

徵兵事務條例施行細則

種別	近衛師														
	現役							豫備徵員							
	步	騎	砲	工	輜重	輜重	職工	計	步	騎	砲	工	輜重	輜重	職工
大隊區															
麻															
布															
橫															
濱															
計															

明治何年 第何旅管徵兵表

其一

種別	海團														
	現役							豫備徵員							
	步	騎	砲	工	輜重	輜重	職工	計	步	騎	砲	工	輜重	輜重	職工
大隊區															
麻															
布															
橫															
濱															
計															

徵兵事務條例施行細則

百九

考備	軍										
	現		役			豫		備		徵	
	職工	卒	計	水	水	工	職	雜	卒	計	
總計				何工	何兵						
計											

一警備隊アル旅管ニ在テハ大隊區ノ下ニ其區畫ヲ設ケル
 二北海道ヨリ徵集ニ應シタル者ハ近衛師團及海軍ヲ區別シ現役隊備徵員ヲ分テ其人員ヲ

備考區畫ニ記ス可シ

三本表ノ區畫ハ實際ニ就キ適宜増減ス可シ其二表亦同シ

第八様式ノ二 (徵兵表)

用紙大美濃紙

種 類	年 齡	現 役				豫 備				徵 集			
		當籤者		志願者		當籤者		小計		當籤者		小計	
		計	小計	計	小計	計	小計	計	小計	計	小計	計	小計
			令第二十一條ニ當ル者	令第二十八條ニ當ル者		令第二十一條ニ當ル者	令第二十八條ニ當ル者		令第二十一條ニ當ル者	令第二十八條ニ當ル者		令第二十一條ニ當ル者	令第二十八條ニ當ル者
	二十歲												
	廿一歲												
	廿二歲												
	廿三歲												
	廿四歲												
	廿五歲												
	廿六歲												
	廿七歲												

明治 第何旅管徵兵表

其二

徵兵務事條例施行細則

考備	員人期延		員入兵國		員入役免		現役中ノ人員 重罪ノ刑ニ處セラレタル人員
	計	一年志願兵志願者	計	身 幹 短 尺 疾 病	計	疾 病 畸 形	
總計							

○勅令第十四號 明治廿二年 二月廿五日

陸軍一年志願兵條例

第一條 徵兵令第十一條ニ據リ一箇年間陸軍現役ヲ志願スル者ハ兵種及衛戍地ヲ選ヒ服役スルコトヲ得但服役中ノ費用官給ヲ受クル者ハ此限ニ在ラス

第二條 一年志願兵ノ被服裝具彈藥武器及屬具ハ其所屬部隊ヨリ現品ヲ給シ其被服裝具費彈藥費武器及屬具修理費トシテ金六拾圓ヲ納メシム但服役滿期ノ際精算ヲ爲シ殘金アルトキハ之ヲ還付ス

(關係)施行細則 第一條 第三十五條

第三條 騎兵トシテ服役スル者ハ馬匹及馬具ヲ貸與シ其馬匹ニ係ル一切ノ費用及馬具修理費トシテ第二條ノ納金ノ外八拾圓ヲ納メシム但服役滿期ノ際精算シ殘金アルトキハ之ヲ還付ス

陸軍一年志願兵條例

(關係)施行細則第二條

第四條 一年志願兵ハ日給ヲ給セサルモノトス

徵兵署檢査所往復旅費及ヒ入營退營旅費ハ一切自辨トス

第五條 一年志願兵 營外ニ居住シ通勤セシメ其居宅及食餌ノ費用ハ本

人ノ自辨トス

若シ品行不正ノ事アルトキハ營内ニ居住セシメ食餌ハ該部隊ヨリ給シ其費用ヲ辨償セシム

(關係)施行細則第三條

第六條 身元貧困ニシテ費用ノ全部ヲ自辨スルコト能ハサル者ニハ左ノ

區別ニ從ヒ官費ヲ以テ服役セシム

一 居宅及食餌ノ費用ノ外自辨シ能ハサル者ニハ一般ノ兵卒同様部隊ヨ

リ被服裝具彈藥武器及屬具ヲ給與ス

二 武器及屬具ノ修理費ノ外自辨シ能ハサル者ニハ一般ノ兵卒同様部隊

ヨリ食餌被服裝具彈藥ヲ給與シ營内ニ居住セシム

(關係)施行細則第四條

第七條 官費ヲ以テ服役ヲ許ス可キ一年志願兵ノ人員ハ毎年陸軍大臣之ヲ定ム

(關係)施行細則 第十三條 第十四條

第八條 官費ヲ以テ服役セシム可キ壯丁前條ノ定員ニ超過シタルトキハ

年少ノ者ヨリ順次次年ニ回シ入隊セシムルコトアル可シ

第九條 一年志願兵タラント欲スル者ハ其願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ一月三

十一日迄ニ島司又ハ郡市長ニ差出シ島司郡市長ハ本人身元資産ノ有無

及犯罪ノ有無ヲ取調ヘ證明書ヲ作り之ヲ願書ニ添ヘ本人居住地所管ノ

旅團長ニ差出ス可シ

一 戸主 本人戸主ナノ承認書
レハ其家族ノ承認書

此承認書ハ第二條第三條第五條第一項又ハ第六條第一項若シハ第

陸軍一年志願兵條例

二項ノ費用ヲ自弁スルコトヲ記スルモノトス

二官立學校 帝國大學撰科及府縣立師範學校中學校若クハ文部大臣ニ於

テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル學校若クハ文部大臣ノ認

可ヲ經タル學則ニ依リ法律學政治學理財學ヲ教授スル私立學校卒業

ノ者ハ前項ニ掲クル承認書ノ外該學校ノ卒業證書

(關係施行細則 第五條第六條 第七條)

第十條 一年志願兵ヲラント欲スル者ニシテ一月卅一日迄ニ第九條第二

項ノ學校ヲ卒業セサルモ其年ノ九月三十日迄ニ卒業ス可キ者ハ卒業証

書ニ換フルニ學校長ノ證明書ヲ以テ願出ルコトヲ得但卒業シタルトキ

ハ直ニ卒業證書ヲ添ヘ旅團長ニ届出可シ

第十一條 第九條ノ志願者中學術ノ試験ヲ受クヘキ者ハ其人名書ヲ旅團

長ヨリ師團長ヲ經テ監軍ニ呈シ監軍ハ之ヲ將校學校監ニ下付シ將校學

校監ハ之ヲ陸軍將校生徒試験委員ニ下付ス

師團長ハ身体檢査ノ時日ヲ定メ府縣知事ニ通達シ志願者ヲ召集シ其地

所在ノ軍醫ヲシテ身体檢査ヲ爲サシメ合格者ノ人名書ヲ陸軍將校生徒

試験委員到着ノトキ交付ス

(關係施行細則 第八條第九條 第十一條)

第十二條 陸軍將校生徒試験委員ハ志願者ノ身体檢査ニ合格シタル者ノ

學術ヲ試験シ試験書ヲ旅團長ニ送付ス

(關係施行細則 第十一條)

第十三條 學術ノ試験ヲ受ク可キ者ノ試験及合格格例ハ其時々監軍之ヲ

定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十四條 旅團長ハ試験ノ成績ニ依リ及第落第ヲ定メ之ヲ本人ニ通知シ

其及第者ニハ併セテ認定證書ヲ附與ス

第九條第二項ノ卒業證書及第十條ノ證明書ヲ所持スル者ハ一般ノ徵兵

ト同時ニ身体ノ檢査ヲ爲シ其合格者ニハ認定證書ヲ附與ス但第十條ノ

證明書ヲ所持スル者ノ認定證書ハ同條但書ノ届出ヲ爲シタルキ之ヲ附與スヘシ

(關係)施行細則 第十二條第十五條第十八條
第二十條第二十一條

第十五條 一年志願兵認定證書ヲ附與シタル人名書ハ旅團長ヨリ大隊區
徵兵官ニ送付ス可シ

第十六條 一年志願兵ノ入隊期日ハ毎年十二月一日トス

第十七條 一年志願兵認定證書ヲ受ケタル者ハ十一月三十日限り第二條

第三條第六條第二項ノ費用ヲ部隊ニ納ム可シ

第十八條 一年志願兵入隊シタルトキ若クハ次年回リト爲リタルトキハ

本籍所管大隊區徵兵官ニ届出可シ

第十九條 一年志願兵入隊スルキハ聯隊長 獨立大隊ニ在テハ 之ヲ部下某

中隊ニ編入シ該中隊長ヲシテ教育ニ任セシム

第二十條 一年志願兵軍事學ノ教授ハ聯隊長部下大尉若クハ中尉ノ内一

名ヲシテ之ヲ掌ラシム

第二十一條 一年志願兵ノ教育及軍事學ノ教授ニ就テハ聯隊長共責ニ任
スルモノトス

第二十二條 一年志願兵ノ勤務及服裝ハ一般ノ兵卒ト異ナルコトナシ但營

中雜役ヲ免シ又被服ニ特別ノ徽章ヲ附ス室内其他諸物品ノ掃除及馬匹

馬具等ノ掃拭ヲ習得スル爲メニハ自ラ之ヲ爲スヲ要ス

第二十三條 一年志願兵中勤務ニ熟達シ且品行方正ニシテ豫備士官ノ教育

ヲ受クルニ堪フ可キト認ムル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ六箇月ノ後上等

兵トナシ特別ノ教育ヲ授ケ下士ノ勤務ヲ爲サシム

(關係)施行細則 第二十八條
第二十九條

第二十四條 上等兵ト爲シタル者ハ服役滿期ノ際聯隊長ハ一年志願兵終

末試験委員ヲシテ學科及實地上ノ試験ヲ爲サシメ之ニ及第シタル者ハ

其成績ヲ近衛都督又ハ師團長歩兵ハ旅團長ヲ經テニ具狀シ認可ヲ受ケ

終末試験及第證書ヲ授與シ二等軍曹ニ任シ豫備役ニ編入ス

陸軍一年志願兵條例

終末試験ニ落第シタル者ハ二等軍曹ニ任シ若クハ下士適任證書ヲ附與シ豫備役ニ編入ス

(關係施行細則第三十二條)

第二十五條 醫學藥學又ハ理財學若クハ商業學卒業證書ヲ所持スル者ハ步兵隊ニ獸醫學卒業證書ヲ所持スル者ハ騎兵隊砲兵隊又ハ輜重兵隊ニ於テ前半年間隊列勤務ヲ爲シ後半年ノ初ニ於テ志願軍吏生志願軍醫生志願藥劑生又ハ志願獸醫生ト爲リ各専門ノ勤務ヲ練習スルコトヲ得志望ノ者ハ入隊ノ際學校ノ卒業証書ヲ以テ其由ヲ申立可シ
獸醫學卒業證書ヲ所持シ志願獸醫生トラントコトヲ志望スル者ハ第三條ノ納金ヲ爲スニ及ハス

(關係施行細則第二十五條第二十六條)

第二十六條 志願軍吏生志願軍醫生志願藥劑生及志願獸醫生ヲ命スルニハ近衛又ハ師團監督部長若クハ軍醫長獸醫長ヨリ近衛都督又ハ師團長

ノ認可ヲ請フヘシ

(關係施行細則第廿八條第廿九條)

第二十七條 志願軍吏生志願軍醫生志願藥劑生及志願獸醫生ハ曹長同等ノ取扱ヲ受クルモノトス

第二十八條 志願軍吏生志願軍醫生志願藥劑生及志願獸醫生ト爲シタル者ハ服役滿期ノ際近衛又ハ師團監督部長若クハ軍醫長若クハ獸醫長一年志願兵終末試験委員ヲシテ實地ノ試験ヲ爲サシメ之ニ及第シタル者ハ其成績ヲ近衛都督又ハ師團長ニ具狀シ認可ヲ受ケ終末試験及第證書ヲ授與シ豫備役ニ編入ス
終末試験ニ落第シタル者ハ曹長若クハ軍曹相當官ニ任シ豫備役ニ編入ス

(關係施行細則第三十二條第三十三條)

第二十九條 近衛都督又ハ師團長ハ一年志願兵終末試験委員ヲ組織シ及

陸軍一年志願兵條例

其試験ノ方法ヲ定ム

第三十條 一年志願兵認定證書ヲ得タル者正當ノ事由ナクシテ其年ノ十月一日ニ入隊セサルトキハ一年志願兵ノ資格ヲ失フモノトス

(關係施行細則第二十二條)

第三十一條 戰時若クハ事變ニ際スルトキハ一年志願兵ト雖ル一般ノ兵卒ト同シク服役セシム

附則

第三十二條 明治二十二年限リ第九條ノ願出期限ハ三月十五日迄トス

第三十三條 第二條第三條ノ納金額ニ變更ヲ要スルトキハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

○陸軍省令第三號 明治廿二年三月四日

陸軍一年志願兵條例施行細則

第一條 條例第二條ノ所屬部隊ヨリ給スル被服裝具ノ現品ハ左ノ如シ

- 一 第一種帽 前立共
- 二 第二種帽
- 三 絨衣袴
- 四 小倉衣袴
- 五 夏衣袴 二着
- 六 日覆
- 七 外套
- 八 脚絆
- 九 第一種手牒
- 十 背囊屬具共

陸軍一年志願兵條例施行細則

十一 飯盒

十二 水筒

第二條 條例第三條ノ馬匹ニ係ル一切ノ費用トシテ納メシムル費用ハ左

ノ如シ

一 藪秣寐藪費

二 裝鉄剔毛費

三 馬療費

第三條 居宅及食餌自辨ノ者行軍若クハ野外ニ於テ演習ヲ爲ストキハ部

隊ヨリ食餌ヲ給シ實費ヲ以テ其代償ヲ辨價セシム

第四條 條例第六條第二項ノ武器及屬具ノ修理費ハ金九圓トス

第五條 條例第九條ノ願書及承認書ハ附錄第一第二第三第四樣式ニ依リ

認メ本籍ノ島司又ハ郡市長ニ差出ス可シ

第六條 條例第九條ノ證明書ハ附錄第五第六樣式ニ依リ之ヲ作ル可シ

第七條 條例第九條ノ卒業證書ハ其寫ヲ差出ス可シ

第八條 條例第十一條第二項ニ依リ師團長ハ身体検査ノ時日ヲ定ムルト

同時ニ検査所設置ノ場所ヲ定メ府縣知事ニ通達シ府縣知事ハ其時日及

場所ヲ管内ニ告示ス可シ

第九條 學術ノ試験ヲ受クヘキ者ニシテ身体ノ検査ヲ爲シタル者ハ陸軍

醫官其合格ト不合格トヲ判定シ且不合格ノ者二十歳未滿ノ者ヲ除クハ永久服役ニ

堪ヘ難キ者ト一時服役ニ堪ヘ難キ者トヲ區別シ其人名書ニ体格検査表

ヲ添ヘ師團長ニ差出シ師團長ハ之ヲ本人居住地ノ旅管徵兵官ニ送付ス

可シ

第十條 旅管徵兵官ハ前條ノ書類ニ依リ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ免役ノ

處分ヲ爲シ一時服役ニ堪ヘ難キ者ハ体格検査表ヲ大隊區徵兵官ニ送付

シ大隊區徵兵官ハ該検査表ニ依リ徵集延期ノ處分ヲ爲ス可シ但寄留ノ

者ニ在ラハ其旨ヲ本籍地ノ旅管徵兵官又ハ大隊區徵兵官ニ通知ス可シ

第十一條 條例第十一條第二項及第十二條ノ身体検査並學術試験ニ出頭セサル者ハ條例第九條ノ願書ハ無効ニ屬ス

前項ニ當ル者ハ旅團長ヨリ本籍地ノ大隊區徵兵官ニ通知ス可シ

第十二條 條例第十四條ノ一年志願兵認定證書ハ附錄第七様式ニ依リ作ル可シ

第十三條 官費ヲ以テ服役セシム可キ者ニハ旅團長附錄第八様式ニ依リ官費服役許可狀ヲ作り本人ニ附與ス可シ

條例第八條ニ依リ次年回シト爲スヘキ者ハ許可狀ノ裏面ニ其事由ヲ記載ス可シ

第十四條 官費ヲ以テ服役セシム可キ者ヲ各隊ニ配付スルニ方リ理財學若クハ商業學卒業證書ヲ所持スル者ハ近衛又ハ師團監督部所在地ノ歩兵隊ニ配賦ス可シ

第十五條 條例第十四條ニ依リ身体ノ検査ヲ受ク可キ者ノ氏名ハ旅團長

ヨリ大隊區司令官ニ達シ大隊區司令官ハ之ヲ島司又ハ郡市長ニ通達シ島司郡市長ハ検査ノ時日及其場所ヲ管内ニ告示ス可シ

大隊區徵兵署又ハ検査所ニ出頭シ難キ事故アル者ハ願ニ依リ他ノ大隊區徵兵署若クハ検査所若クハ旅管徵兵署ニ於テ身体ノ検査ヲ受クルコトヲ得但許可ヲ受ケヌシテ出頭セサル者ハ條例第九條ノ願書ハ無効ニ屬ス

前項但書ニ當ル者ニシテ寄留ノ者ハ大隊區司令官ヨリ本籍地ノ大隊區徵兵官ニ通知ス可シ

第十六條 大隊區徵兵署若クハ検査所ニ於テ身体ノ検査ヲ爲シタル者ハ大隊區司令官合格不合格ヲ區別シ検査報告書ヲ作り之ヲ旅團長ニ差出ス可シ

身体ノ検査ニ合格セサル者二十歳未満ニシテ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ旅管徵兵官免役ノ處分ヲ爲シ其一時服役ニ堪ヘ難キハ大隊區徵兵官徵

集延期ノ處分ヲ爲ス可シ但寄留ノ者ニ在テハ其旨ヲ本籍地ノ旅管徴兵官又ハ大隊區徴兵官ニ通知ス可シ

第十七條 身体ノ検査ニ由リ本人志望ノ兵種ニ適セサルモ他ノ兵種ニ適ス可キ者ハ更ニ他ノ兵種ヲ志願スルコトヲ得

第十八條 一年志願兵認定證書ヲ附與シタル者ハ旅團長ヨリ自費服役官費服役次年回シ等ヲ區別シ其人名書ニ体格検査表ヲ添ヘ當該聯隊長立獨大隊ニ在テハ大ニ送付シ又其人員ヲ師團長ニ報告シ師團長ハ之ヲ陸軍大臣ニ報告ス可シ

第十九條 一年志願兵入隊前禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ死亡シタルトキハ其親族ヨリ旅團長ニ届出可シ

第二十條 一年志願兵認定證書ヲ所持スル者疾病其他止ムヲ得サル事故ヲ生シ十二月一日ニ入營シ難キトキハ證明書類ヲ添ヘ入隊ノ延期ヲ旅團長ニ願出可シ其事故十二月二十日迄ニ止マヌシテ入隊セサル者ハ旅

團長之ヲ次年回シト爲シ聯隊長及本人ニ通知ス可シ

第二十一條 一年志願兵認定證書ヲ所持スル者ニシテ十二月一日ニ入隊セサル者ノルトキハ聯隊長ヨリ其人名ヲ旅團長ニ通知ス可シ

第二十二條 條例第三十條及本則第十九條第二十條第二項ニ當ル者官費服役者ナルトキハ旅團長ハ條例第八條ニ依リ次年回ト爲シタル者ヲ繰上ケ十二月三十一日迄ニ入隊セシムルヲ得但入隊ヲ命シタルトキハ其人名ヲ聯隊長ニ通知ス可シ

第二十三條 一年志願兵ハ入隊ノ當日讀法式及宣誓式ヲ行フモノトス

第二十四條 一年志願兵ニ授クル特別教育ノ課程ハ別ニ之ヲ定ム

第二十五條 條例第二十五條ニ依リ志願軍吏生志願軍醫生志願藥劑生志願獸醫生ト爲リ各専門ノ勤務練習ヲ志望スル者ハ該隊長ヨリ各自ノ卒業證書寫ヲ添ヘ近衛又ハ師團監督部長若クハ軍醫長若クハ獸醫長ニ通牒シ監督部長獸醫長近衛都督又ハ師團長ノ認可ヲ受ケ後半年ノ初メニ

於テ該隊長ヲ經由シ之ヲ命ス可シ

第二十六條 條例第二十五條ニ依リ志願軍吏生ト爲シタル者ハ近衛又ハ師團監督部ニ志願藥劑生ト爲シタル者ハ衛戍病院ニ派遣シ勤務ヲ練習セシム

第二十七條 志願軍吏生ノ教育ハ近衛又ハ師團監督部長志願軍醫生ノ教育ハ該隊二等軍醫生志願藥劑生ノ教育ハ衛戍病院長志願獸醫生ノ教育ハ該隊上級ノ獸醫各其責ニ任スルモノトス

第二十八條 條例第二十三條及第二十六條ニ依リ上等兵及志願軍吏生志願軍醫生志願藥劑生志願獸醫生ト爲シタル者ハ將校集會所ニ於テ將校ト會食セシムルコトヲ得

第二十九條 志願軍吏生志願軍醫生志願藥劑生志願獸醫生ト爲シタル者ハ武器及屬具ヲ返納セシメ更ニ徒卒力ヲ給ス可シ

第三十條 一年志願兵滿期ニ先タク近衛都督又ハ師團長ハ條例第二十九

條ノ終末試驗委員ヲ組織ス可シ

第三十一條 終末試驗委員ハ各隊各部毎ニ上長官一名士官若干名ヲ以テ組織ス可シ但獸醫部ニ在テハ士官若干名ヲ以テ組織ス可シ

第三十二條 條例第二十四條第一項第二十八條第一項ニ依リ豫備役ニ編入ス可キ者ハ該隊ヨリ其兵籍ヲ本人居住地ノ大隊區司令部ヘ送致シ其他ハ本籍地ノ大隊區司令部ヘ送致ス可シ

第三十三條 條例第二十四條及第二十八條ノ一年志願兵終末試驗及第證書ハ附錄第九様式ニ依リ各部各隊ニ於テ作ル可シ

第三十四條 一年志願兵中豫備士官ノ教育ヲ授クルニ堪ヘスト認ムル者ハ下士ト爲スノ教育ヲ授ケ適任ノ者ハ服役滿期ノ際上等兵ト爲シ下士適任證書ヲ附與シ豫備役ニ編入ス

第三十五條 服役中ノ費用自辨ノ者入隊後禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ疾病傷痍ニ依リ現役ヲ免シ若クハ死亡シタルトキハ實費ヲ精算シ殘金

第一様式

一年志願兵服役願

私儀徴兵令第十一條ニ依リ服役中ノ費用全部ヲ自辨シ可兵何聯「大」隊又ハ何聯「大」隊ニ於テ一ケ年間現役ニ服シ度志願ニ候間學術ノ試験ヲ受クヘキ者ハ「學術御認可相成度別紙某學校卒業證(其學校長ノ証明書)戸主(家族)ノ承認書相添此段奉願候也

年月日

府(縣)郡(市)町(村)番地注
 府(縣)郡(市)町(村)番地寄留
 華(士)族(平民)氏

年月日 印 生

旅團長露氏名殿

近衛隊志願ノ者ハ本文何兵ノ上ニ近衛ノ二字ヲ記入ス可シ

第二樣式

一年志願兵官費服役願

私備徵兵令第十一條ニ依リ一箇年間陸軍現役ニ服シ度志願ニ候處服役中ノ費用全部自辨ス可キ資力無之候ニ付居室及食餌(武器及屬具ノ修理費)ヲ自辨仕候間學術試驗ヲ受シヘキモノハ「學術御試」其他ハ官費ヲ以テ服役ノ儀御認可相成度別紙某學校卒業証書(某學校長ノ證明書)戶主(家族)ノ承認書相添此段奉願候也

年月日

府(縣)郡(市)町(村)番地住
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留
華(士)族(平民)

氏

名 印

年月日生

旅團長 尊氏名殿

第三樣式

一年志願兵服役承認書

右私長男(孫)ニテ今般一箇年間陸軍現役ニ服シ度志願ニ候處服役中ノ費用金何圓無相違上納可致候也

年月日

府(縣)郡(市)町(村)番地住
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留

戶

氏

名 印

第四樣式

一年志願兵服役承認書

右私長男(孫)ニテ今般一箇年間陸軍現役ニ服シ度志願ニ候處服役中ノ費用全部自辨ス可キ資力無之候得共居室及食餌(武器及屬具ノ修理費金何圓)無相違自辨(辨償)可致候也

年月日

府(縣)郡(市)町(村)番地住
府(縣)郡(市)町(村)番地寄留

戶

氏

名 印

陸軍一年志願兵條例施行細則

第五様式

身元證明書

右ハ刑ニ處セラレタルコトナク(何々ニ依リ罰金何圓ニ處セラレタルコトアリト雖モ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナク)且其戶主(本人)何々(記名財産)額面何千圓ナ有シ是ヨリ生スル潤益年額若干金並何々(無記名財産)若干ヲ有シ其他官廳ヨリ受クル俸給(何會社)商社ヨリ受クル給料(年額何千圓)何々ノ所得年額何千圓)有之候者ニ付一年志願兵服役中ノ費用全部ヲ自辨シ得ルコトヲ證明ス

年月日

府(縣)島司郡(市)長氏

名印

第六様式

身元證明書

右ハ刑ニ處セラレタルコトナク(何々ニ依リ罰金何圓ニ處セラレタルコトアリト雖モ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナク)且其戶主(本人)何々(記名財産)額面何百圓ナ有シ是ヨリ生スル潤益年額若干金何々(無記名財産)若干(官廳ヨリ受クル俸給額若干金)何會社「商社」ヨリ受タル給料年額若干金何々ノ所得年額若干金)アリト雖モ是ニ依リ一家幾口ノ生計ヲ立ルモノナレハ居室及食餌(武器及屬具ノ修理費)ノ外自辨シ能ハサルコトヲ證明ス

年月日

府(縣)島司郡(市)長氏

名印

第七様式

第 號

府(縣)族籍 氏

年月日 生 名

右陸軍一年志願兵タル資格ヲ具有スル者ト認定シ何兵何聯「大」隊ニ於テ服役スルコトヲ許可ス(命ス)

年月日

職爵位勳 氏

名 印

第八様式

欄花紋

第 號

府(縣)族籍 氏

年月日 生 名

右居室及食餌(武器及屬具ノ修理費)ノ外官費ヲ以テ陸軍一年志願兵トシテ服役スルコトヲ許可ス

年月日

職爵氏

名 印

七寸八分

用紙鳥ノ子紙

五寸六分

陸軍歩兵上等兵

氏名

右一年志願兵終末試験ニ
及第ス

年月日

職位爵氏名

印

○陸軍省令第二號

陸軍醫官徵兵検査規則ヲ廢シ徵兵検査規則左ノ通定ム

明治二十二年三月二日

徵兵検査規則

第一條 身体検査ノ要ハ合格ト不合格トヲ區別スルニ在リ合格ハ身体強

健精神異常ナクシテ兵役ニ堪フヘキモノ不合格ハ疾病或ハ畸形ニシテ

之ニ堪フ可カラサルモノトス而シテ此検査ハ學術上諸種ノ方法ヲ施ス

コトヲ得

第二條 現ニ傷痍疾病ニ罹ルモ輕症ニシテ服役シ得ヘキモノハ合格トス

第三條 身幹ハ左ノ如ク定ムト雖モ所要ノ人員不足スル時ニ當リテハ臨

時遞減スルコトアルヘシ

砲兵、工兵

五尺五寸以上

歩兵、騎兵、輜重兵

五尺三寸以上

徵兵検査規則

輜重輸卒

五尺二寸以上

陸軍職工

五尺以上

海軍水兵、火夫、看病夫

五尺三寸以上

海軍木工、鍛冶、厨夫

五尺二寸以上

警備隊ノ歩兵、砲兵ハ以上ノ定尺ヨリ各二寸以内減縮スルコトヲ得

第四條 兵役ニ堪フヘカラサル疾病畸形ハ大約左ノ如シ

- 一 全身發育不全
- 二 骨、筋系瘦弱甚シキモノ
- 三 脂肪過多ニシテ運動ニ妨アルモノ
- 四 慢性腺腫、慢性腺潰瘍
- 五 軟部ノ悪性若クハ著大ナル腫瘍、潰瘍
- 六 骨慢性炎、骨潰瘍、骨壞疽、骨腫瘍、骨軟化、佝僂病
- 七 癩痕廣大ナルモノ或ハ骨ト癒著シテ運動ニ妨アルモノ

八 象皮腫、癩

九 出血病、白血病

十 動脈瘤、靜脈瘤、及著大ナル脈腫

十一 慢性關節僂麻質斯、慢性痛風ニシテ著シキ器質ノ變化アルモノ

十二 癩癩、舞蹈病

十三 脊髓勞、進行性筋瘦小

十四 白痴、癲狂

十五 頭部畸形ノ著大ナルモノ

十六 眼瞼ノ内反、外反及涙瘻

十七 角膜虹彩膜ノ疾患ニシテ視力ニ妨アルモノ

十八 斜視ニシテ一眼直視スルトキ他眼ノ角膜縁内外眦ニ達スルモノ

十九 陸軍兵ニ在テハ近視ニシテ視力二分ノ一以下ニ至ルモノ

海軍兵ニ在テハ近視

二十 陸軍兵ニ在テハ視力乏弱貳分ノ一以下ニ至ルモノ及夜盲
海軍兵ニ在テハ視力乏弱及夜盲

廿一 失明

廿二 耳殼缺亡、慢性重聽、聾

廿三 鼻畸形ノ著大ナルモノ

廿四 鼻腔前頭竇上顎洞ノ慢性潰瘍、腫瘍

廿五 口内悪性潰瘍、唇頰癒著、口吻狹窄

廿六 唇又ハ齒牙ノ疾病缺損ニシテ咀嚼ニ妨アルモノ

廿七 口蓋ノ破裂、缺損、穿孔

廿八 舌若クハ唾脈ノ腫瘍、肥大、缺損又ハ扁桃腺ノ腫瘍、肥大ニシテ其著

大ナルモノ及唾癭

廿九 唾癭、唾

三十 喉頭及氣管ノ畸形並ニ其慢性病

三十一 食道狹窄

三十二 斜頸及脊梁ノ畸形ニシテ運動ニ妨ケアルモノ

三十三 胸廓畸形ノ著大ナルモノ

三十四 肺、胸膜ノ慢性病

三十五 心臟心嚢ノ慢性病

三十六 腋臭及足汗ノ惡臭甚シキモノ

三十七 骨盤畸形ノ著大ナルモノ

三十八 歌兒尼亞

三十九 慢性脱肛、痔瘻又ハ著大ノ痔核ニシテ定期性出血、澀潰等アルモノ

四十 尿癭、尿石及尿道畸形

四十一 睪丸、副睪丸ノ慢性炎、肥大及睪丸腹輪中ニ在テ疼痛ヲ發スルモノ

トアルモノ

四十二 四肢ノ麻痺、削瘦、短縮、彎曲、假關節

四十三 關節畸形

四十四 腕白若クハ習癖腕白又ハ關節痿軟

四十五 拇指若クハ示指又ハ他ノ三指ノ爪甲全缺

四十六 陸軍兵ニ在テハ刺指又ハ指ノ癒著及小指末節ヲ除クノ他指節ノ強剛

海軍兵ニ在テハ刺指又ハ指ノ癒著及指節ノ強剛

四十七 陸軍兵ニ在テハ環指若クハ小指ノ末節ヲ除クノ他一節以上又ハ環指小指共ニ一節以上ノ缺損

海軍兵ニ在テハ諸指一節以上ノ缺損

四十八 足ノ畸形

四十九 陸軍兵ニ在テハ大趾ハ一節以上他指ハ二趾以上ニシテ一節以上ノ缺損

上ノ缺損

海軍兵ニ在テハ諸趾一節以上ノ缺損

五十 刺趾又ハ趾ノ著大ナル彎曲

第五條 前條各項ノ疾病畸形ト雖モ其輕症ニシテ服役ヲ得ヘキモノハ合格トシ爾餘ノ疾病畸形ニシテ服役ヲ得ヘカラスルモノト認ムルトキハ不合格トス

○陸達第三十七號 明治廿二年 三月廿五日

徵兵検査手續別冊ノ通定ム

但明治廿一年(六月)陸達第三百三十一號達陸軍徵兵検査手續ヲ廢ス

(別冊)

徵兵検査手續

第一條 徵兵検査手續ハ徵兵検査規則ニ據リ之ヲ定ムルモノナリ

第二條 大隊區(警備隊區)徵兵委員タル醫官ハ一日壯丁概テ百五十名ヲ檢

査シ旅管徵兵委員タル醫官其検査ヲ要スルトキハ一日概テ五十名ヲ檢
査スヘシ

検査ニ要スル器械ハ陸軍病院備附ノモノヲ使用ス

第三條 大隊區(警備隊區)徵兵署事務員タル地方徵兵醫員ハ四名トス

第四條 身體検査ノ順序ハ概テ左ノ如シ但測天及視力關節運動各部構造
ノ検査ハ地方徵兵醫員ニ分擔セシムルモノトス

一 測尺主任ノ醫員ハ壯丁ヲシテ踵ヲ測尺柱ニ當テ、直立セシメ全身長ヲ
測リ其尺度ヲ壯丁名簿ニ記入捺印シ次ニ尺帶ヲ取り兩肩胛骨下角左
右乳頭ノ直下ヲ周匝シ尋常ノ氣息ヲナサシメテ胸圍ヲ測リ續テ最強
ノ呼吸ヲナサシメ其縮張ノ差ヲ測ルヘシ但シ身幹定尺ニ滿ツルモノ
胸圍身幹ノ半ヨリ大ナルモノ縮張ノ差一寸五分以上ノモノハ壯丁名
簿ニ捺印シ是ヨリ以下ノモノ及測尺困難ナルモノハ醫官ニ申告スヘ
シ

二 視力検査主任ノ醫員ハ「ステルレン」氏視力表ヲ場内ノ壁上ニ掲ケ二十
尺ノ距離ニ壯丁ヲ立シメ初メ各偏眼ノ視力ヲ次ニ兩眼合働ノ視力ヲ
檢シ而シテ後辨色力ヲ檢スヘシ其検査ニ由リ視力表ノ二十号ヲ明視
スルモノ及辨色力完全ナルモノハ壯丁名簿ニ捺印シ否ラサルモノハ
醫官ニ申告スヘシ

三 關節運動検査主任ノ醫員ハ壯丁ヲシテ頭首、脊推、四肢諸關節ノ屈伸内

徵兵検査手續

外轉、回轉ノ諸運動ヲナサシメ其運動完全ナルモノハ壯丁名簿ニ捺印シ否ラサルモノハ醫官ニ申告スヘシ

四各部構造検査主任ノ醫員ハ頭顱、顔面、眼、鼻、口、咽喉、耳、頸、胸、肋、腋窩、上肢ノ前面及其兩側、腹、肚、陰部、下肢ノ前面及其兩側、項、背、腰、臀、膀、肛門、四肢ノ後面ヲ檢シ其完全ナルモノハ壯丁名簿ニ捺印シ否ラサルモノハ醫官ニ申告スヘシ

五醫官ハ主任醫員ノ申告ニ依リ不合格ト認メタルモノハ爾餘ノ検査ヲ止メ否ラサルモノハ壯丁名簿ニ自ラ其意見ヲ記入シタル後他ノ検査ヲ行ハシム

六醫官ハ主任醫員ノ検査終ル後壯丁ノ住所氏名年齢等ヲ問ヒ應答ノ間言語精神及聽官ノ機能ヲ試ミ次ニ其體格一般ノ強弱健否ヲ判別シ體格ノ等位ヲ定ム

第五條 體格ノ等位ヲ區別スルコト左ノ如シ

- 一 甲種 身體強健精神異常ナクシテ兵役ニ堪フヘキモノ
 - 二 乙種 甲種ニ亞クモノ
 - 三 丙種 徵兵令第十八條第一項第二項ニ當ルモノ
 - 四 丁種 疾病或ハ畸形ニシテ兵役ニ堪ヘサルモノ
- 第六條 左ノ各項ノ一ニ當ルモノハ體格一般ノ構造ヲ鈞量シテ合格トナスコトヲ得但シ壯丁名簿ニ其意見ヲ記入スヘシ
- 一 胸廓ハ尋常ノ氣息ニ於テ其周圍身幹ノ半ニ至ラス若クハ縮張ノ差一寸五分ヲ超ヘサルモ其構造良ナルモノ
 - 二 身體一部ノ形器官能ニ障礙アルモ輜重輸卒若クハ陸軍職工ニ堪フヘキ者
 - 三 精神病、癲癇、重聽、夜盲、遺尿又ハ自覺症ヲ訴フルモ現ニ其徵候ナク若クハ其徵候確實ナラサルモノ

第七條 大隊區警備隊區徵兵委員タル醫官ハ壯丁體格ノ適否ヲ判定シ難キ場合ニ於テハ當該徵募區検査期日內其検査ヲ續行スルコトヲ得而シ

テ尙決シ難キモノアルトキハ其理由ヲ附箋シテ旅管徵兵委員タル醫官ノ審決ニ附スヘシ

第八條 醫官ハ壯丁中故意ニ身体ヲ毀傷シ若クハ疾病ヲ作為スルモノト認メタルトキハ鑑定書ヲ製シテ當該徵兵官ニ致スヘシ

第九條 醫官ハ地方徵兵委員ノ其任ニ堪ヘサルモノト認メタルトキハ其意見ヲ當該徵兵官ニ申告スヘシ

第十條 大隊區(警備隊區)徵兵委員タル醫官ハ検査終了ノ後一週日以内ニ徵兵体格表第一 徵兵病類表第二ヲ調製シテ旅管徵兵委員タル醫官ニ報告スヘシ

第十一條 旅管徵兵委員タル醫官ハ前條ノ報告ニ據リ旅管徵兵体格表旅管徵兵病類表様式前條ニ同シヲ調製シ所管軍醫長ヲ經テ陸軍省醫務局長ニ報告スヘシ

第十二條 醫官ハ検査事項ニ關シ意見アルトキハ報告ニ添ヘ開申スルモ

ノトス

(徵兵体格表及徵兵病類表略ス)

○陸達第三十九号

陸軍志願兵身體檢查規則別冊之通定ム

明治二十二年三月廿八日

(別冊)

陸軍志願兵身體檢查規則

第一條 身體檢查ノ要ハ合格ト不格合トヲ區別スルニ在リ而シテ醫官ハ

此檢查ヲ行フ爲メ學術上諸種ノ方法ヲ施スコトヲ得

第二條 醫官ハ一日志願兵概テ四十名助手アルトキハ概テ六十名ヲ檢查スヘシ其檢查

ニ要スル器械ハ陸軍病院備附ノモノヲ使用ス

第三條 志願兵ノ身長ヲ定ムルコト左ノ如シ

滿十七歲以上十八歲未滿 四尺九寸以上

滿十八歲以上 五尺以上

第四條 徵兵檢查規則第四條及第五條ハ此規則ニ於テ之ヲ適用ス

第五條 身體檢查ノ順序ハ概テ左ノ如シ但シ志願兵志願者ヲ徵兵署若ク

ハ徵兵檢查所ニ於テ檢查スルトキハ第一項第二項第三項第四項ハ地方

徵兵醫員ニ分擔セシムルコトヲ得

一 志願兵ヲシテ踵ヲ測夫柱ニ當テ、直立セシメ其身長ヲ測定シ次ニ尺

帶ヲ取リ兩肩胛骨下角左右乳頭ノ直下ヲ周匝シ尋常ノ氣息ヲナサシ

メテ胸圍ヲ測リ續テ最強ノ呼吸ヲナサシメ其縮張ノ差ヲ測ル

二 「スチルレン」氏視力表ヲ場内ノ壁上ニ掲ケ二十尺ノ距離ニ志願兵ヲ立

シメ初メ各偏眼ノ視力ヲ次ニ兩眼合働ノ視力ヲ檢シ而シテ後辨色力

ヲ檢ス

三 頭首、脊椎、四肢諸關節ノ屈伸、內外轉、回轉ノ諸運動ヲ檢ス

四 頭顱、顔面、眼、鼻、口、咽喉、耳、頸、胸、腋窩、上肢前ノ前面及其兩側、腹肚、陰部、下肢

ノ前面及其兩側、項、背、腰、臀、膀、肛門、四肢ノ後面ヲ檢ス

五 其住所氏名年齡等ヲ問ヒ應答ノ間言語、精神及聽官ノ機能ヲ試シ其體

陸軍志願兵身體檢查規則

格一般ノ強弱健否ヲ判別シ体格ノ等位ヲ定ム

第六條 体格ノ等位ヲ區別スルコト左ノ如シ

一 甲種 身体強健精神異常ナクシテ兵役ニ堪フヘキモノ

二 乙種 甲種ニ亞クモノ

三 丙種 疾病或ハ畸形ニシテ兵役ニ堪ヘサルモノ

第七條 前條ノ甲種乙種ヲ合格トシ丙種ヲ不合格トス但シ丙種中未滿ノ

者ヲ永久服役ニ堪ヘ難キ者ト一時服役ニ堪ヘ難キ者トヲ區別スヘシ

第八條 左ノ各項ノ一ニ該ルモノハ年齢及体格一般ノ構造ヲ酌量シテ合

格トナスコトヲ得但体格検査表第一ニ其意見ヲ記入ス可シ

一 胸廓ハ尋常ノ氣息ニ於テ其周圍身長ノ半ニ至ラス若クハ縮張ノ差一

寸五分ヲ超ヘサルモ其構造良ナルモノ

二 現ニ傷痕疾病ニ罹ルモ輕症ニシテ治療ノ目途アルモノ

第九條 一年志願兵志願者ハ特ニ近視ニシテ視力四分ノ一以上ノモノヲ

合格トナスコトヲ得

第十條 醫官ハ検査終了ノ後一週日以内ニ體格表第二病類表第三ヲ調製

シテ所管軍醫長ニ呈シ軍醫長之ヲ陸軍省醫務局長ニ呈スヘシ

第十一條 醫官ハ検査事項ニ關シ意見アルトキハ報告ニ添ヘ開申スルモ

ノトス

第十二條 此規則ハ陸軍士官候補生並陸軍諸生徒志願者ノ身体検査ニ適

用ス但シ幼年學校生徒志願者ニ在リテハ視力三分ノ二以上ニアラザレ

ハ合格トナスコトヲ得ス

第十三條 諸生徒志願者ノ身長ハ左ノ如シ但シ別ニ規定スル所アルモノ

ハ此限ニ非ス

滿十五歲以上十六歲未滿 四尺七寸以上

滿十六歲以上十七歲未滿 四尺八寸以上

滿十七歲以上ハ第三條ニ同シ

陸軍志願兵身体検査規則

二十二年四月三十日陸軍省令第十號第九條第十四條中改ム

第十四條 士官候補生並諸生徒志願者ノ體格檢査表ハ檢査結了ノ後各科現
 役士官候補生志願者ノ檢査候補生並諸生徒ノ屬スヘキ部隊ヨリ送附スヘシ
 查表ハ師團司令部ヲ經テ檢査候補生並諸生徒ノ體格檢査表及病類表略ス
 (第一式乃至第三式ノ體格檢査表及病類表略ス)

勅令第三十一號

明治二十一年五月十二日

陸軍常備團隊配備表

師團		旅		兵		諸隊	
名稱	司令部所在地	名稱	司令部所在地	聯隊	大隊	大隊	大隊
第一第	東京	第一	東京	第一	第一	第一	第一
		第二	佐倉	第二	第二	第二	第二
第二第	仙臺	第三	仙臺	第三	第三	第三	第三
		第四	青森	第四	第四	第四	第四
第三第	名古屋	第五	名古屋	第五	第五	第五	第五
		第六	金澤	第六	第六	第六	第六
		第七		第七		第七	
		第八		第八		第八	
		第九		第九		第九	
		第十		第十		第十	
		第十一		第十一		第十一	
		第十二		第十二		第十二	
		第十三		第十三		第十三	
		第十四		第十四		第十四	
		第十五		第十五		第十五	
		第十六		第十六		第十六	
		第十七		第十七		第十七	
		第十八		第十八		第十八	
		第十九		第十九		第十九	
		第二十		第二十		第二十	
		第二十一		第二十一		第二十一	
		第二十二		第二十二		第二十二	
		第二十三		第二十三		第二十三	
		第二十四		第二十四		第二十四	
		第二十五		第二十五		第二十五	
		第二十六		第二十六		第二十六	
		第二十七		第二十七		第二十七	
		第二十八		第二十八		第二十八	
		第二十九		第二十九		第二十九	
		第三十		第三十		第三十	
		第三十一		第三十一		第三十一	
		第三十二		第三十二		第三十二	
		第三十三		第三十三		第三十三	
		第三十四		第三十四		第三十四	
		第三十五		第三十五		第三十五	
		第三十六		第三十六		第三十六	
		第三十七		第三十七		第三十七	
		第三十八		第三十八		第三十八	
		第三十九		第三十九		第三十九	
		第四十		第四十		第四十	
		第四十一		第四十一		第四十一	
		第四十二		第四十二		第四十二	
		第四十三		第四十三		第四十三	
		第四十四		第四十四		第四十四	
		第四十五		第四十五		第四十五	
		第四十六		第四十六		第四十六	
		第四十七		第四十七		第四十七	
		第四十八		第四十八		第四十八	
		第四十九		第四十九		第四十九	
		第五十		第五十		第五十	

陸軍常備團隊配備表

備考	第六		第五		第四	
	熊本	小倉	廣島	松山	大坂	大津
一要塞砲兵警備隊憲兵及屯田兵ノ配備ハ別ニ定ムル所ニ依ル 二歩兵第五聯隊第三大隊ハ函館ニ分屯シ工兵第四大隊ハ伏見ニ屯在ス	第十二	第十一	第十	第九	第八	第七
	小倉	熊本	松山	廣島	大坂	大津
	第廿四	第廿三	第廿二	第廿一	第二十	第十九
		第六	第六	第五	第五	第五
		第六	第六	第五	第五	第五
		第六	第六	第五	第五	第五
	福岡	熊本	松山	廣島	大坂	大津

勅令第三十二號

明治二十一年五月十二日

陸軍管區表

一	第						即管旅管區大隊警備隊區
	二		一				
本郷	水戸	佐倉	長野	高崎	横濱	麻布	管
東京 本郷區 深川區 南足立區 北豐島郡	茨城 行方郡 新治郡 筑波郡 信太郡 河内郡 北相馬郡	千葉 小笠原島	長野	群馬 比企郡 橫見郡 秩父郡 兒玉郡 賀美郡 那賀郡 大里郡 藤原郡 榛澤郡 男衾郡	神奈川 横濱區 久良岐郡 鎌倉郡 三浦郡 大住郡 陶綾郡 山梨	東京 麻布區 麩町區 神田區 日本橋區 赤坂區 神奈川 橘樹郡 西多摩郡 多摩郡 北多摩郡 入間 鹿野郡	府 縣

陸軍管區表

第 四		第 七	
第 八		第 七	
宮津	神戶	岡山	姫路
京都 竹野郡 熊野郡 南桑 兵庫 郡氣多郡 養父郡 七	兵庫 郡明石郡 美嚮郡 加古郡 津名郡 三原郡 坂	岡山 郡北條郡 東條郡 南條郡 西條郡 大庭	兵庫 郡西加東郡 加西郡 多可郡 鳥取 郡岩井郡 八上郡 岡山 郡吉野郡 英田郡
廣嶋 郡沼田郡 佐伯郡 山縣郡 高田郡	廣嶋 郡廣嶋區 安藝郡 加茂郡 豐田郡 高宮郡	岡山 郡北條郡 東條郡 南條郡 西條郡 大庭	京都 郡乙訓郡 紀伊郡 宇治郡 久
山口	廣嶋 郡御調郡 世羅郡 甲斐郡 品治郡 安那郡 深津郡	岡山 郡北條郡 東條郡 南條郡 西條郡 大庭	京都 郡乙訓郡 紀伊郡 宇治郡 久
山口	廣嶋 郡御調郡 世羅郡 甲斐郡 品治郡 安那郡 深津郡	岡山 郡北條郡 東條郡 南條郡 西條郡 大庭	京都 郡乙訓郡 紀伊郡 宇治郡 久

百六十二

第 五		第 九	
第 十		第 九	
松山	德嶋	九龍	松江
松山 郡愛媛郡 越前郡 早都郡 和氣郡 新居郡 周布郡 桑村	德嶋 郡溫泉郡 早都郡 和氣郡 新居郡 周布郡 桑村	九龍 郡愛媛郡 越前郡 早都郡 和氣郡 新居郡 周布郡 桑村	松江 郡鳴根郡 周吉郡 隱岐郡 周吉郡 隱岐郡
高知	高知	高知	高知
熊本 郡熊本郡 飽田郡 託摩郡 宇土郡 玉名郡	宮崎 郡宮崎郡 大分郡 南海部郡 北海部郡	鹿兒 郡鹿兒郡 西嶺郡 川邊郡 愛刈郡 始良郡 原郡 東嶺郡 嶺郡	鹿兒 郡鹿兒郡 西嶺郡 川邊郡 愛刈郡 始良郡 原郡 東嶺郡 嶺郡
大島	大島	大島	大島
沖繩	沖繩	沖繩	沖繩

陸軍管區表

百六十三

第六十第			
小食	佐賀	福岡	長崎
福岡 企設郡 築城郡 上毛郡 田川郡 大分 西國東郡 東國東郡 速見郡 大分郡	佐賀 佐賀郡 神崎郡 基肆郡 養父郡 福岡 三潞郡 山門郡 三池郡	福岡 福岡郡 糟屋郡 宗像郡 鞍手郡 遠賀郡 嘉摩郡 德波郡 上座郡 下率郡 夜須郡 竹野郡 那珂郡 御笠郡 席田郡	長崎 長崎區 西彼杵郡 東彼杵郡 北松原郡 佐賀 東松原郡 西松原郡
對島	五島	長崎	長崎
長崎 上縣郡 下縣郡	長崎 南松浦郡	長崎 南高來郡 北高來郡 壹岐郡 石田郡	長崎 南松浦郡

北海道ハ管區制定ニ至ル迄第二師管第四旅管青森大隊區ニ屬ス
 警備隊設置迄ハ東京府小笠原島ハ麻布大隊區ニ新瀉縣雜太羽茂加茂三郡ハ柏崎大隊區ニ島根縣周吉穗地海十知夫四郡ハ松江大隊區ニ鹿兒島縣大島熊毛馭謨三郡及
 沖繩縣ハ鹿兒島大隊區ニ長崎縣南松浦郡ハ長崎大隊區ニ屬ス

○陸軍省訓令甲第三號

本年法律第一號ヲ以テ徵兵令改正ニ付テハ舊徵兵令ニ交渉ノ件取扱方左ノ通定ム

明治二十二年三月八日

- 第一項 左ニ掲タル者ハ戶長ニ於テ徵兵事務條例施行細則第一條ニ依リ壯丁名簿ヲ作り島司又ハ郡區長ニ差出サシム可シ
- 一 新令第四十條第四十一條ニ當リ徵集ニ應スヘキ者
 - 二 舊令第十八條第五項第六項ニ當リ徵集猶豫中ノ者
 - 三 舊令第十七條ニ當ル者ニシテ其資格ヲ失ヒ第十八條第五項第六項第十九條第二十一條ニ當ル者ニシテ其事故止ミ本年徵集ニ應スヘキ者

四 新令施行前逃亡失踪其他ノ事故ニテ翌年回シト爲リタル者

第二項 前條ノ壯丁名簿ハ島司郡區長ヨリ大隊區徵兵器又ハ警備隊區徵

陸軍省訓令甲第三號

兵署ニ提出セシム可シ

第三項 新令第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條及第四十一條

ニ當リ徵集延期又ハ徵集猶豫中ノ者ハ別ニ壯丁名簿ヲ作ルヲ要セス從

前ノ徵集猶豫名簿ヲ島廳又ハ郡區役所ニ備置キ異動ヲ生スル者ノルト

キハ訂正セシム可シ

○陸軍省令第七號

明治二十年二月陸軍省令第三號警備隊兵卒入營前ノ取扱左ノ通改正ス

明治二十二年三月二十五日

一警備隊兵卒ノ入營期限ハ左ノ如シ

第一次 十二月一日

第二次 六月一日

一疾病犯罪等ニテ期限ニ際シ入營シ難キ者ノ補缺員ハ第一次ニ在テハ十

二月十日迄ニ第二次ニ在テハ六月十日迄ニ入營セシム

一前項ノ事故ニ由リ第一次ニ入營シ難キ者ハ第二次ニ第二次ニ入營シ難

キ者ハ次年徵募ノ新兵同時ニ入營セシム

一前諸項ニ掲クルモノ、外人營前ノ取扱ハ徵兵事務條例及徵兵事務條例

施行細則ニ依ル

○閣令第十一號 明治二十二年三月二十五日

試補及判任官見習ニシテ一年志願兵トナル者ハ在職ノ儘服役スルコトヲ得

但服役時日ハ實務練習ノ期限ニ算入セス有給者ニハ俸給ヲ給セサルモノトス

○海軍省軍務局長ヨリ各府縣知事へ通牒 明治廿二年三月六日

海軍生徒及海軍工夫ハ徵兵令改正ニヨリ常備兵籍ニ編入セラレ又東京及函館商船學校生徒ハ海軍豫備員ニ充ツヘキ者ニ付海軍生徒ニ準セラルヘキ旨通牒セリ

(陸軍省令第七號 閣令第十一號(海軍省軍務局長通牒(内務省令第六號) 百六十七

○内務省令第六號 明治廿二年四月二十日

徵兵參事員手當金並旅費支給規則左ノ通定ム

支給規則

- 一手當金ハ府縣郡市嶋嶼ヲ問ハス出務日數ニ應シ一日金壹圓ヲ支給ス
- 一旅費ハ左表ノ金額ヲ給ス其支給法ハ明治十九年六月閣令第十四號内閣

旅費規則ニ據ル
但地方狀況ニ依リ認可ヲ經テ定額ノ旅費ヲ節減スルヲ得

汽 車 賃		汽 船 賃		車 馬 賃	
一 哩 每	ニ	一 海 里 每	ニ	一 里 每	ニ
金 六 錢		金 六 錢		金 八 錢	
				金 七 錢	
					日 每
					金 七 錢

○陸軍省令第十一號 明治廿二年五月十一日

徵兵事務條例第四條ニ依リ步兵聯隊ノ兵員ヲ徵集スヘキ聯合大隊區

通定ム

步兵第一聯隊	麻布大隊區	橫濱大隊區
步兵第十五聯隊	高崎大隊區	長野大隊區
步兵第二聯隊	佐倉大隊區	水戸大隊區
步兵第三聯隊	本郷大隊區	宇都宮大隊區
步兵第四聯隊	仙台大隊區	福嶋大隊區
步兵第十六聯隊	新發田大隊區	柏崎大隊區
步兵第五聯隊	青森大隊區	盛岡大隊區
步兵第十七聯隊	秋田大隊區	山形大隊區
步兵第六聯隊	名古屋大隊區	津 大隊區
步兵第十八聯隊	豊橋大隊區	静岡大隊區
步兵第七聯隊	金澤大隊區	富山大隊區
步兵第十九聯隊	岐阜大隊區	福井大隊區

- 步兵第八聯隊 大坂大隊區 和歌山大隊區
- 步兵第九聯隊 大津大隊區 京都大隊區
- 步兵第十聯隊 姫路大隊區 岡山大隊區
- 步兵第二十聯隊 神戸大隊區 宮津大隊區
- 步兵第十一聯隊 廣嶋大隊區 山口大隊區
- 步兵第廿一聯隊 尾道大隊區 松江大隊區
- 步兵第十二聯隊 丸龜大隊區 德嶋大隊區
- 步兵第廿二聯隊 松山大隊區 高知大隊區
- 步兵第十三聯隊 熊本大隊區 宮崎大隊區
- 步兵第廿三聯隊 八代大隊區 鹿兒島大隊區
- 步兵第十四聯隊 小倉大隊區 佐賀大隊區
- 步兵第廿四聯隊 福岡大隊區 長崎大隊區

○勅令第六十四號 明治廿二年五月八日

徵兵事務條例第三條ノ徵募區ハ東京市京都市大坂市ニ於テハ區ヲ以テ徵募區ト爲ス

徵兵事務條例中市長及市書記ノ職務ハ東京市京都市大坂市ニ於テハ區長若クハ區書記ニ於テ之ヲ行フ

東京市京都市大坂市ニ於テハ市徵兵參事員ヲ置カス區ニ區徵兵參事員ヲ置キ市徵兵參事員ノ職務ヲ掌ルム其人員選舉人被選舉人資格選舉ノ方法及任期ハ市徵兵參事員ニ同シ區徵兵參事員ノ選舉月日及選舉開會并投票函閉鎖ノ時刻ハ明治二十二年ニ限リ府知事ヨリ選舉開會五日以前ニ告示スルコトヲ得

○文部省告示第三號 明治廿二年五月九日

- 京都府々立京都府醫學校
- 大坂府々立大坂醫學校
- 受知縣々立愛知醫學校

(勅令第六十四號(文部省告示第三號))

右ハ明治二十二年一月法律第一號徵兵令第十一條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

○文部省訓令第一號 明治廿二年五月六日

明治二十二年一月法律第一號徵兵令第十一條中學校ノ學科程度ト同等以上ト認ムヘキ學校ハ其市町村立ニ係ルモノハ左ノ第一項及第二項ニ該當シ私立ニ係ルモノハ左ノ各項ニ該當スルヲ要スル儀ニ付該事項ヲ具備スルモノアリト思考スルトキハ其狀況ヲ稟申スヘシ

一普通學校ニ在リテハ中學校ノ成規ニ準據シタルモノタルヘク農商工等ノ實業學校ニ在リテハ入學生徒ハ高等小學校卒業ノ者若クハ之ニ該當キ學力ヲ有スル者ニシテ三箇年以上ノ學科課程ヲ具フルモノタルヘク其他專門學校ニ在リテハ入學生徒ハ尋常中學校卒業ノ者若クハ概テ尋常中學校ノ程度ニ據リ相當ナル豫備ノ學科ヲ修メタル者ニシテ三少年以上ノ學科課程ヲ具フルモノタルヘク

- 一 所定ノ學科ヲ教授スルニ足ルヘキ教員及校舍器具地所等ヲ具備スル事
- 一 學校長及教員任免ノ方法一定確實ナル事
- 一 授業料束脩等ノ如キ豫メ確定シ難キ收入金ヲ除キ毎年ノ費金中貳千四百圓以上ハ全ク資本ノ利子ト認メ得ヘキモノアル事
- 一 設置以來三ヶ年ヲ經テ相當ノ成績アリタルヘキ事

兵事例規 畢

文部省訓令第一號

明治二十二年七月十五日印刷
全一冊 年七月十六日出版

百七十四

著者
發行者

千葉縣立

海津政修

千葉縣明村坂本五百十八番地

全一冊

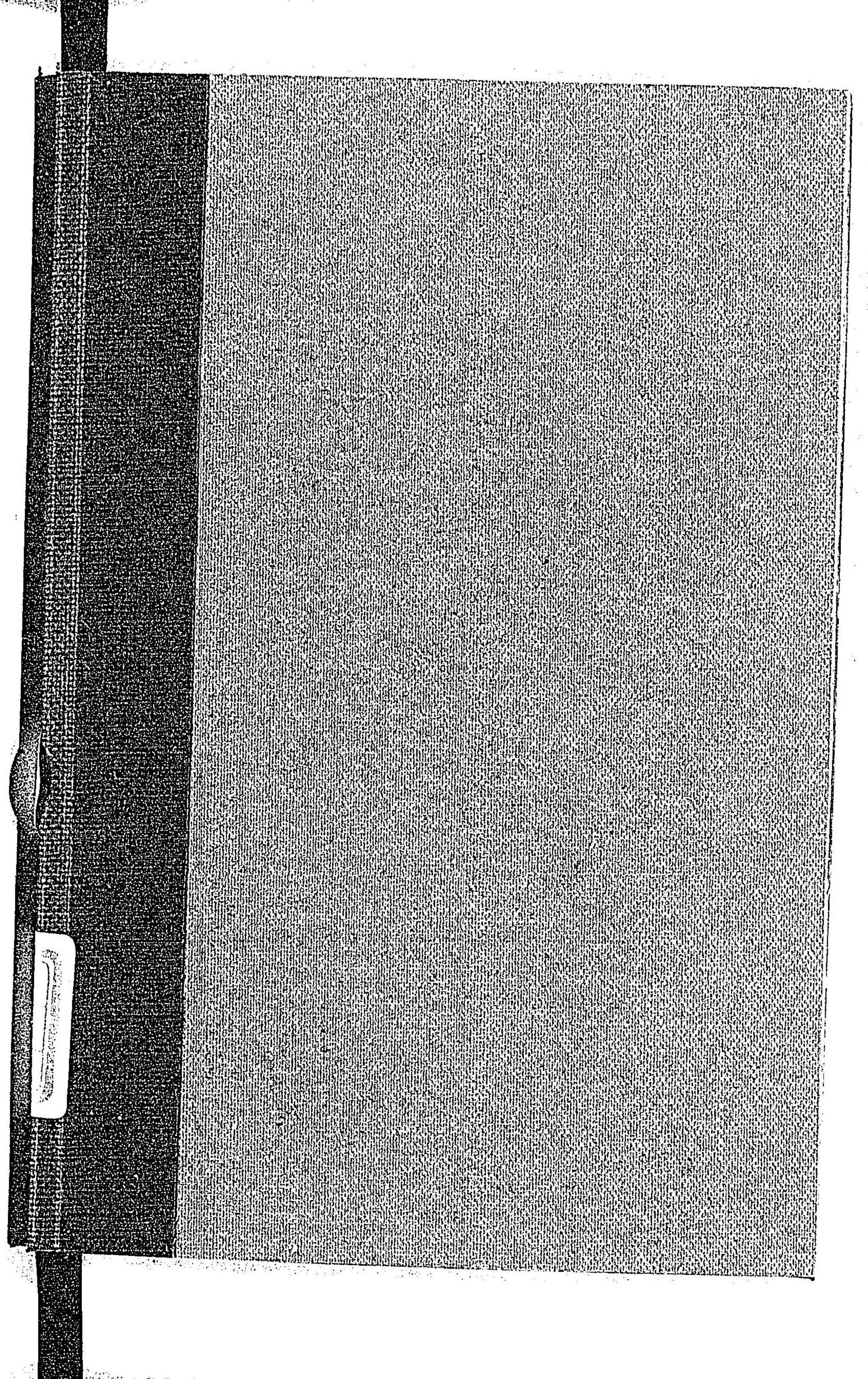
木村榮

千葉縣松戸町松戸千四百四十二番地

印刷者

大場洗美

東京市神田區横須賀町第十一號



039128-000-5

CZ-671-023

兵事例規

海津 政修

木村 繁 / 著

M22.7

BCC-0377

